
事業報告書

ANNUAL REPORT

平成24年度 '12.4~'13.3

一般社団法人 中部産業連盟

平成24年度 事業活動実績ならびに業務報告

目 次

I. 事業活動実績の総括	1
II. 分野別事業活動	
1. コンサルティング事業	5
2. セミナー事業（企業内）	13
3. セミナー事業（公開）	17
4. 国際協力事業	37
5. 受託事務局事業	39
III. 業務報告	
1. 会 勢	42
2. 会 議	42
3. 庶 務	44
4. 協力活動	45
5. 役・職員の対外的協力活動	45
6. 会員支援	47

I. 事業活動実績の総括（平成24.4～平成25.3）

1. 先行したアベノミクス期待に反応する動きを見る日本経済

平成24年度は、民主党政権の末期的運営による混乱と低迷の時代と評価されよう。東日本大震災から立ち直ることなく2年が経過した。そして、対外的には欧州の金融危機、中国、韓国との領有権を巡る問題により経済交流が低迷した。これにより日本企業の競争力は低下し、また、円高により輸出が鈍り、補助金により支えられてきた中小企業の再生や個人消費にもその影響が表れてきた。特に、海外競争力が低下した家電メーカーの業績悪化によるリストラの波及は、内需を弱めた。支えは、上期における米国への自動車を中心とする輸出が、好調であったことである。

上期における円高は、平成23年から続き、その年の10月31日には戦後最高値となる75円32銭となった。こうした流れの中で、日本企業の内需から外需へシフトする動きは、大企業から中堅、中小企業へと加速した。

日本は、昨年12月、自民・公明への政権交代が実現。「アベノミクス」がスタートし、新しい経済政策として「大胆な金融政策」「機動的な財政運営」「民間投資を喚起する成長戦略」の三本の矢で経済再生を図っていくことが発表された。更に、日本銀行に2%のインフレターゲットを設定し、金融緩和をさらに強力で推進。その結果、東京外国為替市場では、本年2月6日、円が対ドルで94円台まで下落し、2年9ヶ月ぶりの円安水準となった。本文を執筆している4月19日には、対ドル99円50銭となった。平成24年度各社の決算発表が始まっているが、輸出企業を中心として業績アップが目立つ発表となっている。

2. 平成24年度における事業活動の概要

中部産業連盟は、混迷した経済環境から脱却すべく動き始めた産業界を活性化するための諸活動に取り組んできた。毎月開催の「会員懇話会」においては、「リ・インベンションへの挑戦」「フロントランナー型経営に求められる新たな視点」「日本経済の底力―臥龍が目覚めるとき」などの活力の高まるテーマを取り上げ、多くの会員の皆様に参加頂いた。

また、コンサルティング事業では、ものづくり企業における改革・改善に加えて、新規事業開発、事業再生、職場活性化支援、国際活動においてはJICAなど国際支援機関から委託されたインド、メキシコ、コロンビア、この他北京事務所による中国民間企業、国営企業の経営指導を実施した。東京本部は、独自開発した「目で見える経営」VMを多角的に展開し、企業支援を進めた。長野コンサルティングセンターでは、A-KOMIKの普及に注力した。

人材育成を目指す「公開研修事業」では、財界人を講師とした中部産業界の次世代を担うリーダー養成を目指す「第3期木曾駒塾」、本格的なトヨタウェイに基づく「第68・69回トヨタ生産方式研究会・PART I、第59・60回PART II」、「第45期経営後継者養成講座」（同族企業における後継者育成を目指す1年コース）、「経営後継者研修塾」（短期コース）、「第5期中小企業診断士登録養成課程」、「海外洋上研修・第28回創造の船（台湾）」を実施した。

受託事業として「日本経営管理標準（JMS）推進機構」、「環境パートナーシップ・CLUB」の事務局や「中小企業大学校 瀬戸校」の運営を行い、また職場活性化センターではメンタルヘルスのカウンセリング事業を実施した。この他、各地でISOの内部監査員研修を公開で開催し、プライバシーマークについては審査指定機関（認証及び更新）・研修機関として取り組んだ。

新たな事業としては、本年度、未来技術を紹介する「新産業フォーラ

ム・未来展」を開催。また、中部経済産業局、愛知県などの補助事業として「次世代自動車事業活性化のための人材養成事業」等を実施した。

そして、3月11日には大野耐一氏生誕百周年記念特別フォーラム「トヨタ生産方式の本質と進化（深化）」を開催した。初めにトヨタ自動車株豊田章男社長の挨拶から始まり、基調講演は張富士夫会長、その後のパネルディスカッションでは池淵浩介顧問・技監（中産連名誉会長）をはじめ6名のパネリストが参加者1,250名の熱気ある雰囲気の中で当時の回顧を交えた話をされ、感銘を与える催しとなった。

事業活動の詳細については、次頁からの分野別事業活動、業務報告にて述べる。

Ⅱ. 分野別事業活動

中産連では、次の5事業を実施、各事業については事業部別に報告。

1. コンサルティング事業
2. セミナー事業（企業内）
3. セミナー事業（公開）
4. 国際協力事業
5. 受託事務局事業

1. コンサルティング事業

国内コンサルティング事業

- ・本部（名古屋）187社、東京本部106社、長野コンサルティングセンター10社に対してコンサルティング、教育研修を実施
- ・40の専門機関より要請を受け、コンサルティング、教育研修を実施

受注先	本部	東京	長野	総計(社)
会員企業ならびに非会員企業	187	106	10	303
専門機関、公共機関からの要請 (診断・コンサルティング・調査)	40			

(除：Pマーク審査先)

(1) コンサルティング事業部

1) コンサルティング・グループ（総合、39社）

※各事業部からの社数には、行政機関、団体からの受注も含む

「組織と仕事、そして人」をコアにするコンサルティング技法の開発およびその展開を推進。活動は、企業戦略の策定や人事諸制度づくり・改定に関するコンサルティングから各種の教育・訓練まで総合的に幅広く実施。今期は企業の「グローバル」展開にともなうコンサルティングが増加。

海外赴任者に対する賃金制度構築や、海外事業展開に関するものが中心であるが、中には既存の職能給制度を職務給制度に変更し、全世界共通の制度に移行する取組みも含まれる。

アジア圏に進出を予定する比較的小規模の企業に対し、現地（海外）に同行し海外販路開拓を支援するコンサルティングを年度後半実施。（8社）

また、大規模な組織全体に対する業務改善のプロジェクトを継続している。

調査・報告系業務として、愛知県より「アジアビジネス情報提供事業」を、愛知労働局より「希望者全員65歳雇用確保達成事業」などをはじめとする事業を受託し、実施した。（6社）

2) コンサルティング・グループ（事業再生、19社）

銀行、投資ファンド等の金融関係機関とタイアップしたコンサルティング企画、金融・財務・M

& Aソリューションの提供を主目的とし、経営層へアプローチできるコンサルティング、企業および事業の再生コンサルティングに対する各種ソリューションの提供、ハンズオン型ビジネスマッチングをめざし実施した。

具体的には、経営サポートプロジェクト3社、企業再生に関わる事業デューデリジェンスと経営計画作成支援6社、事業再生診断4社、ビジネスマッチング2社、その他4社と取り組んだ。

3) コンサルティング・グループ（生産、53社）

企業体質改善、生産、品質、生産管理、職場活性化、人材育成等に関するコンサルティングを企業から各種団体に対して、幅広く実施した。（実施場所は海外を含む）

①企業活性化コンサルティング

多業種の製造業に対し、企業のニーズにもとづいたコンサルティングを実施。また金融機関・支援機関と連携し、診断から支援コンサルティングまで実施。

テーマは、企業体質改善、生産革新支援、工場経営改善／工場収益改善、生産性向上／経営計画支援、改善人材育成、QCサークル活動支援等である。

②トヨタ流ものづくり支援コンサルティング

各種の生産現場にトヨタ流ものづくりを定着させるコンサルティングを自動車部品メーカーに対し支援。代表的テーマは、「小少軽短美活動」支援である。

4) 長野コンサルティングセンター（13社）

ものづくり企業の強健な基盤形成のために、次のテーマでコンサルティングを実施した。

- ・経営改善 収支維持原価法による原価構造基準の構築とアクションプラン策定 5社
- ・現場改善 日々管理の徹底による、付加価値を増殖できる生産体制づくり実地支援 5社
- ・品質向上 引き合い・受注段階の用途確度を高め、想定外及び予定外コストを最小限にする見極め方式の実践による、設計・生産準備段階からの品質レベル向上並びに、収益改善・実践 3社

(2) 経営企画営業支援部（46社）

（株）商工中金経済研究所・地方銀行依頼の経営及び生産現場の改善・企業再生コンサルティングの実施。

1) 中部地区の会員企業に対するコンサルティングを受注 2社

2) 北海道地区の現場改善コンサルティングを受注 4社

3) コンサルティング 40社

- ・経営改善
- ・現場改善
- ・人事制度改革
- ・経営方針と戦略策定
- ・海外工場レイアウト計画策定支援
- ・経営者および次世代人材育成支援
- ・事業調査および事業計画策定
- ・新規事業推進

- ・ビジネスマッチング

[職場活性化センター] (カウンセリング事業)

1) 調査

- ・第3回「職場の活性化とメンタルヘルス」に関するアンケート調査および報告書の作成

実施時期：平成24年6月20日～7月31日

実施方法：アンケート調査票郵送方式

調査対象：中部産業連盟会員企業のうち、当連盟会員向け機関誌を定期郵送している776社の経営者、もしくは安全衛生管理責任をもつ役員

回答企業：139社 (回収率 17.8%)

調査内容：企業におけるメンタルヘルスと職場活性化に関する実態と認識を分析・解明するために、次のテーマについて調査を行った。

- ・経営者のメンタルヘルスに対する認識
- ・メンタルヘルス施策の取組状況と評価
- ・メンタルヘルスの不調に関する状況
- ・管理者に対する支援の状況
- ・ハラスメントに関する状況と対策取組状況

2) 電話相談窓口年間契約 (2社)

- ・ハラスメント専用電話窓口
- ・従業員の心の電話相談窓口

(3) マネジメント研修事業部 (23社)

コンサルティングの企画・受注

- ・生産現場改善
- ・儲かる工場づくり
- ・小集団活動支援
- ・QCサークル活性化
- ・商品開発支援
- ・人事制度改革
- ・評価制度改革
- ・コーチング
- ・カウンセリング
- ・中国プロジェクト

中産連北京事務所による、中国日系企業及び中国民営企業に対する経営管理革新支援、人材育成支援、情報サービス活動

[マネジメント貢献部] (21社)

1) コンサルティング 9社

- ・ISOシステム維持向上
- ・TS16949認証取得

- ・業務改善
 - ・新入社員研修
 - ・生産性向上
 - ・印刷業向け講演会
 - ・事業継続計画策定
- 2) グローバルマネジメントプロジェクト 2社
- ・海外人事制度構築
- 3) 名古屋市海外販路開拓支援事業【(一社)海外事業支援センター名古屋 委託事業】
- ・契約期間：平成24年5月14日～平成25年3月31日
 - ・内容：少子高齢化による国内需要が落ち込む中、他方で中国を始めとし新興国市場は急激な拡大を見せている。このような状況下において、国内中小企業は海外へとビジネスチャンスを求める動きが加速している。しかしながら、海外取引が未経験な企業、又は新たな国との新規取引を進める企業にとっては実際の新規取引につなげることが難しいことが現状である。今般、名古屋市内の中小企業に対し、国内外において海外販路新規開拓を進めるに当たっての課題や指針についてのアドバイス、サポートにつき上記センターより委託を受け実施。
- (4) 国際標準化事業部
- マネジメントシステム構築、診断、研修、改善指導 他 (43社)
- ・ISO9001/T S 16949/VDA 23社
 - ・ISO14001 9社
 - ・ISO27001 3社
 - ・ISO22000 1社
 - ・ISO39001 2社
 - ・OHSAS18001 3社
 - ・統合 1社
 - ・その他コンサルティング(QC 他) 1社
- [情報セキュリティ監査センター] (2社)
- ・食品製造業の5S及び衛生管理コンサルティング
 - ・産業廃棄物処理業のISO9001認証取得支援
- [Pマーク審査センター] (401社)
- 1) (一財)日本情報経済社会推進協会(以下、JIPDEC)の認定を受けたプライバシーマーク審査指定機関(指定機関コード19)として、中部地区(愛知、岐阜、三重、石川、富山)の事業所を中心にプライバシーマーク認証及び2年毎の更新認証のための審査認証業務を実施
 - 2) プライバシーマーク審査指定機関として、プライバシーマーク主任審査員(12名)、審査員(11名)、審査員補(4名)、合計27名の人員をJIPDECに登録
 - 3) 平成24年度の申請件数 401件
(登録審査59件、更新審査339件、吸収・合併審査3件)

(5) マネジメント開発事業部 (30社)

日本経営管理標準 (JMS) およびトヨタ生産方式 (TPS) を柱とした企業変革コンサルティングを実施。

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| ・産業機械メーカー | 製造体質強化活動
ホワイトカラー体質強化活動 |
| ・重機械メーカー | 生産革新 |
| ・化学メーカー | 4拠点における生産革新 |
| ・ベアリングメーカー | 業務品質向上活動
国内9拠点、海外3地域における生産革新活動支援 |
| ・食品メーカー | 13事業所における設備生産性向上活動 |
| ・電力設備機器メーカー | 改善支援 |
| ・電気機器メーカー | JITをベースにした生産革新 |
| ・試験機メーカー | 生産革新 |
| ・建機メーカー | 生産革新 |
| ・電線ケーブルメーカー | 生産革新 |
| ・熱処理メーカー | スピード&効率化 革新
ビジョン構築
風土改革活動 |
| ・食品メーカー | 業務改善プロジェクト |
| ・建材メーカー | 設備生産性向上活動 |
| ・鉄製品加工メーカー | 改善塾 |
| ・自動車部品メーカー | 全工程後補充生産体制 |
| ・重機メーカー | 技術革新
コスト低減 |
| ・自動車部品メーカー | コスト改善 |
| ・自動車部品メーカー | 生産・物流一気通貫革新 |
| ・食品メーカー | 工場改善活動支援 |
| ・冷凍食品メーカー | 工場改善 |
| ・電子部品メーカー | 生産革新 |
| ・輸送用機器メーカー | 自工程保証推進支援
設計部・原価企画部 (コンサルティング) |
| ・材料メーカー | モノづくり革新 |
| ・工作機械メーカー | 生産改善活動 |
| ・食品メーカー | 生産革新 |
| ・食品原料メーカー | 営業 (コンサルティング) |
| ・工作機械メーカー | ビジョン構築 |
| ・水道機器メーカー | ものづくり体質向上 |

・精密部品メーカー ものづくり革新活動

中国企業の企業革新コンサルティングの実施

・自動車メーカーの現場改善

(6) 東京本部（64社）

1) 「経営」「人材」「職場」の3つの視点からのコンサルティング

VM（Visual Management＝見える経営）活動の推進による企業体質の改革、見えるフレキシブル生産システム（VM-FMS）の確立による生産革新、生産現場改善によるコストダウン、5S活動の推進、在庫削減とリードタイム短縮の推進、間接部門の5S・ファイリング・VMの推進、人事制度の革新と組織の活性化の推進、賃金制度・退職金制度の改革、企業内教育体系の構築・整備、評価制度の導入・展開、職場力診断と職場力開発支援、自律度診断及び自律型社員を育てる研修体系作成支援、Off-JTとOJTの統合化支援、中小企業の企業再生、マーケティング戦略の策定と展開、販売管理体制の確立、ISO9001、ISO14001、ISO27001、ISO22000認証取得のための品質保証体制の確立などのコンサルティングを実施。

2) 業務協力によるコンサルティング

①(株)商工中金経済研究所、静銀経営コンサルティング(株)、(株)ちばぎん総合研究所、東京中小企業投資育成(株)、SMB Cコンサルティング(株)などと業務協力し、民間企業に対するコンサルティングを受託し、共同でコンサルティングを行う。

②中小企業基盤整備機構、各県庁・市役所及びその関連団体などの公的機関から依頼を受け、地域の中小企業に対するコンサルティング活動を実施し、地域の中小企業の人材育成と企業の発展に協力。

3) 中産連VM賞の授与

VM活動を推進して企業体質の革新を図られた大信グループ（大信産業(株)、日栄産業(株)、日信サービス(株)古里事業所及び神の倉事業所）に対して平成24年12月1日に「中産連VM推進賞」を授与して表彰。

[研究開発事業活動]

1) 中産連職員の発表論文と受賞状況

第64回全国能率大会

優秀論文発表大会 平成24年9月26日

発表論文（第64回大会発表論文）

・新規事業開発実践研修のすすめ方とその効果

コンサルタント 橋本 豊

・職場力を高める若手・中堅社員の育成

他律・他責社員の増殖を止めて、社員の自立度を向上させる

コンサルタント 原 裕二

2) 平成24年度 (社)全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 梶川 達也、関根 明郎、富澤 祐子

表彰牌 牛田 晶康、松本 月

3) 日本経営診断学会 第45回全国大会

「地域社会における社会的価値の創造—戦略的サステナビリティの考察—」

山崎 康夫 (平成24年9月)

4) 専門書、専門誌などの執筆活動

- ・「カジュアルゴルフ」(株)ニイニイロク

“ビジネスマン・ゴルファーに捧げる〔頭脳派ゴルフ〕のススメ”

吉田 薫 (平成24年4月～平成25年3月)

- ・「実践！事務所の5S-オフィスのムダをなくして業務効率アップ!」同文館出版

小林 啓子 (平成24年4月)

- ・「環境規制・基準チェックの手引」新日本法規出版

梶川 達也 (平成24年4・9月)

- ・「工場管理」日刊工業新聞社

“デフレ時代を生き残る 工場管理・間接部門改革”

五十嵐 瞭・小坂 信之・小林 啓子 (平成24年6月号)

- ・「環境マネジメント モデル規程・文例集」新日本法規出版

梶川 達也・寺島 毅 (平成24年9月)

- ・「ビジネスマンのための問題解決ハンドブック」(翻訳)ピアソン桐原

梶川 達也 (平成24年9月)

- ・「いま、経営戦略を考える」実務教育出版

橋本 豊 (平成24年9月)

- ・「食品工場の生産性向上とリスク管理」幸書房

山崎 康夫 (平成24年9月)

- ・「食品工場長」日本食糧新聞社

“実践！食品工場の生産性向上策—コストダウンのヒント—”

山崎 康夫 (平成24年10月～平成25年3月号)

- ・「図解 製造リードタイム短縮の上手な進め方」同文館出版

五十嵐 瞭 (平成24年11月)

- ・「マネジャーのためのコミュニケーション戦略

—ビジネス成功に欠かせないコミュニケーション・スキル」(翻訳)ピアソン桐原

梶川 達也 (平成24年12月)

- ・「企業情報とくしま」(公財)とくしま産業振興機構

“徳島は、強みを活かしているか”

福山 穰 (平成25年1月)

- ・「工場管理」2013年2月臨時増刊号 日刊工業新聞社

“目で見てわかる現場レベルアップ基準書”

古橋 武之・三木 素直・中井 芳美・中島 俊宏・寺島 毅 (平成25年2月号)

5) 中産連マネジメント大会

当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動をとおしたマネジメント手法やポイントを名古屋・東京で紹介

①第25回マネジメント大会（名古屋）

開催日：平成24年11月14日

会場：メルパルクNAGOYA

大会テーマ：再生日本における新たな発展の秘訣・・・

参加人数：・パネルディスカッション431名

・第1部136名 第2部92名 第3部87名 第4部97名

・General Assembly ～パネルディスカッション～

「日本企業の生き残りの道

ーグローバル化を背景に事業基盤をどう強化、再構築するかー」

アスカ(株)	代表取締役会長	片山 敬勝氏
(独)国際協力機構	JICA中部所長	大貝 隆之氏
新東工業(株)	代表取締役社長	永井 淳氏
ファシリテータ	コンサルティング事業部長	福山 稜

・第1部（総合系）

「日本の新しい人づくり戦略」

上席主任コンサルタント	石原 聖治
主任コンサルタント	柘植 吉則

・第2部（戦略系）

「競争に勝つ『アスリート企業』の養成」

主任コンサルタント	吉田 薫
研究員	熊澤 晶子

・第3部（生産系）

「グローバル化に向けて日本のものづくりをどう再構築するか」

主席コンサルタント	秋穂 功
上席主任コンサルタント	川口 恭則

・第4部（VM系）

「VMによるマネジメント改革と全員力経営の推進」

主幹コンサルタント	五十嵐 瞭
主席コンサルタント	小坂 信之

②第19回東京マネジメント大会

開催日：平成24年10月15日

会場：アルカディア市ヶ谷

大会テーマ：経営力回復へ！「全社一体改革」による管理体制づくり！

参加人数：119名（経営革新部会90名 人材マネジメント部会29名）

・経営革新部会

「際限なき経営課題を乗り越えるための『国内ものづくり企業』の全社改革」

主幹コンサルタント 五十嵐 瞭

「激動の時代を勝ち残るための『全員参加型』業務改革の進め方」

上席主任コンサルタント 小林 啓子

「コストダウンのための効果的な『工場改善のチェックポイント』～VM手法による改善～」

上席主任コンサルタント 山崎 康夫

事例発表「意識を変えよう！職場を変えよう！皆が主役の5S・VM活動」

中津王子紙業(株) 加工部 横山 英邦氏

加工部TB加工部 露田 大氏

コーディネーター 主任コンサルタント 佐藤 直樹

・人材マネジメント部会

グローバル人材の発見と育成 新たな端緒の模索

「グローバル人材の適性と選抜手法」

客観的データにもとづいた適性人材抽出への具体的手法

委嘱コンサルタント 若生 秀雄

「海外適性人材の育成とタレントマネジメント」

単年度の必要人員補充から継続的育成への転換

主任コンサルタント 小栗 義裕

「コンサルティングの視点と課題」

戦略課題としての採用⇒適性診断⇒選抜⇒育成⇒ローテーション、その運用

主任コンサルタント 梶屋 宣之

2. セミナー事業（企業内）

(1) コンサルティング事業部

1) コンサルティング・グループ（総合、63社）

・管理職から中堅・新入社員までの全社的な階層別研修に代表される長期の研修 10社

・方針・目標管理の導入や評価者訓練、昇格・昇進者教育などの人事関連教育 18社

・各種の階層別あるいは機能別研修会 35社

新入社員や若手社員には、徹底的に基本を教えるような「きびしい」研修が問われている。海外展開支援に関するセミナーを、東海地方に加え、北陸地方を含み実施、グローバル化の急速な動きに対応。

2) コンサルティング・グループ（事業再生、1社）

金融機関の融資担当者に対して、企業の経営課題発見能力向上を目指し、人材革新のためのビジネス・シミュレーション・ゲームを実施した。

3) コンサルティング・グループ（生産、4社）

企業や支援機関の依頼にもとづき、日本のモノ作りの将来、生産性向上、問題解決向上などのテー

マで研修を実施。

4) 長野コンサルティングセンター (9社)

多数の事業体を擁する企業を中心に、経営基盤の強化のための企業内研修を実施した。

主なテーマは、経営革新（事業体毎の原価構造を改善するための収支構造改革技法）、生産革新（付加価値増殖生産のための日々管理、余力管理技法およびA-K O M I Kなど）、人材革新（ものづくり一連プロセスを品質コントロールする見極め及び攻め方スタッフの育成）である。

(2) 経営企画営業支援部 (21社・団体)

- ・モノづくり改善研究会
- ・グローバル人材育成専門研修
- ・未就労者人材育成研修
- ・管理能力向上研修
- ・部下の指導の効果的な進め方
- ・昇格者研修
- ・I Eによる生産現場改善コース
- ・B C Pの構築と運用の進め方研修
- ・品質保証の急所と効果的な管理研修
- ・階層別研修および自己啓発研修
- ・モノづくり人づくりの心『伝承塾』
- ・次世代自動車最新事情紹介セミナー
- ・若手社員行動力開発研修
- ・ヒューマンスキル向上研修
- ・「5S + 目で見る管理活動」実践コース
- ・人材開発研究会
- ・創造性開発実践研修
- ・事務・間接部門の効果的な業務改善の進め方
- ・指導者研修 (O J T)
- ・プロジェクトマネジメント研修
- ・技術マネジメント研修

[動産鑑定評価アドバイザー育成センター]

特定非営利活動法人日本動産鑑定および(一社)金融財政事情研究会と、動産評価アドバイザー認定研修を企画し、中部地区認定研修開催を目標に、中部地区（愛知・岐阜・三重・静岡）および北陸地区の地方銀行・信用金庫・信用保証協会・不動産鑑定士協会等約50社を営業訪問・情報収集した。

また、協会等が実施する動産評価に関するセミナーに参加し、制度に関するPRを行った。

[職場活性化センター] (10社)

- | | |
|------------------|----|
| ・管理職向け ハラスメント研修 | 1社 |
| ・相談員研修 | 1社 |
| ・基幹職 コミュニケーション研修 | 1社 |

(コーチング・アサーション)

・リーダーシップ研修	1社
・キャリアコンサルティング	2社
・管理職向け メンタルヘルス研修	1社
・営業所向け 傾聴訓練	1社
・部下とのコミュニケーション研修	1社
・昇格者(中堅社員)コミュニケーション研修	1社

(3) マネジメント研修事業部 (188社)

企業内研修の企画・受注

・階層別基本研修(次世代幹部育成、管理者、T W I、新入社員研修等)

- ・リーダーシップ
- ・品質管理、Q Cサークル、品質保証
- ・小集団活動
- ・設計D R
- ・V E基礎
- ・なぜなぜ分析の進め方、問題解決
- ・安全
- ・人事評価研修
- ・人事考課者訓練
- ・法務
- ・労務管理
- ・財務・会計
- ・知財講演会
- ・O J Tインストラクター、仕事の教え方
- ・ビジネスマナー研修
- ・ヒューマンエラー
- ・顧客満足
- ・コミュニケーション能力
- ・信頼関係
- ・コーチング
- ・段取り上手
- ・キャリアデザイン
- ・セクハラ・パワハラ
- ・ロジカルシンキング
- ・クリエイティブシンキング
- ・説明力
- ・ディベート

- ・ 職場活性化
- ・ メンタルヘルス、ラインケア
- ・ 貿易実務
- ・ 海外進出戦略、海外営業
- ・ I S O 9001
- ・ 5 S 実践
- ・ 図面の見方・読み方研修
- ・ 生産技術部門のケーススタディー研修、他

[マネジメント貢献部] (13社)

1) 個別企業への企業内研修の開催

- ・ I S O 9001規格解釈研修
- ・ T S 16949規格解釈研修
- ・ I S O 14001内部監査員養成研修
- ・ 階層別研修会
- ・ 生産性向上のための研修会
- ・ 品質向上のための研修会
- ・ コンプライアンス講演

2) 大学への講師派遣

- ・ 個別大学及び大学院への講師派遣
- ・ 個別大学へのキャリアアップ支援指導

(4) 国際標準化事業部

各種規格の解説研修、内部監査員養成研修 他 (17社)

- ・ I S O 9001 / T S 16949 / V D A 9社
- ・ I S O 14001 5社
- ・ I S O 27001 1社
- ・ その他 (I S O 19011 他) 2社

[情報セキュリティ監査センター] (2社)

- ・ I S O 14001内部監査員養成研修
- ・ 企業の社会的責任研修 (C S R)

(5) マネジメント開発事業部 (34社)

- ・ 管理能力向上プログラム 3社
- ・ 協力会社向管理能力向上プログラム 1社
- ・ 新入社員研修 (P D C A と チームワーク力向上) 1社
- ・ 新入社員フォローアップ研修 1社
- ・ 標準作業の改善研修 1社
- ・ T P S 研修 5社
- ・ 社内講演会 1社

・ジャストインタイム体感演習	1社
・中堅社員研修	1社
・工場中堅技術者研修	1社
・モノと情報と時間の流れ図	1社
・J I T・物流研修	1社
・グローバル研修	1社
・ソリューションフォーカス会議研修	1社
・若手中堅社員研修	1社
・メンタルヘルス・パワーハラスメント研修	1社
・部下とのコミュニケーション研修	1社
・流れ化改善研修	1社
・管理監督者の役割と問題解決研修	1社
・管理職現場実践研修	2社
・問題解決力強化現場実践研修	1社
・現場のV E 基礎コース	1社
・I E 研修	1社
・社内講演会	1社
・社内講演会「トヨタ生産方式の展開事例」	1社
・社内講演会「V E 概論」	2社

(6) 東京本部 (53社)

C A P (中産連アセスメントプログラム) による経営者・管理者・監督者の階層別企業内教育研修、G - C A P、アクションラーニング研修、人事考課者訓練の実施、昇格者研修、リーダー研修、新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、自律型社員育成研修 (入社3年目、5年目、7年目等)、職場力強化の為の職場単位研修、職場リーダー育成研修、コーチング研修、及び5 S・V M、在庫削減、品質管理、物流改善、I S O 9001と14001認証取得のための内部品質監査員養成などをテーマとした研修を、企業内で実施。

3. セミナー事業 (公開)

(1) 木曾駒塾運営事務局

1) 第3期木曾駒塾 (次世代経営リーダー啓発の場) の開講

①塾の目的

中部産業界から優れたリーダーを輩出したいという経営者の方々の思いにより、次代の中部産業界を担う高い志を持ったリーダーを育成するために、中部産業界ゆかりの地にちなんで「木曾駒塾」と名づけ、平成22年8月開講。今年度は中部産業界の将来を担うリーダー候補が、33社から33名参加。

②塾の概要

・発起人・講師 [50音順]

石田 建昭氏（東海東京証券㈱取締役会長）
 岡田 邦彦氏（J.フロント リテイリング㈱相談役）
 小澤 正俊氏（大同特殊鋼㈱取締役会長）
 川口 文夫氏（中部電力㈱相談役）
 柴田 昌治氏（日本ガイシ㈱相談役）
 須田 寛氏（東海旅客鉄道㈱相談役）
 多賀 潤一郎氏（イビデン㈱最高顧問）
 内藤 明人氏（リンナイ㈱取締役会長）
 渡辺 捷昭氏（トヨタ自動車㈱相談役）
 竹内 弘之（(一社)中部産業連盟副会長）

【コーディネータ】

青井 倫一氏 [明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科教授、
 慶應義塾大学ビジネススクール名誉教授（元校長）]

・カリキュラム

第1講から第7講まで全7回の講義とグループ討議及び年度末に成果発表会を実施。なお、第2講から第4講は、木曾駒高原ホテルでの2泊3日の合宿にて実施。

テ ー マ	講 師	開催日	開催場所
第1講 「鉄道経営論」	東海旅客鉄道㈱ 相談役 須田 寛氏	平成24年 8月24日	名古屋東急ホテル
第2講 「国際競争の中 成熟産業社会の日本における経営者としての考え方」	リンナイ㈱ 取締役会長 内藤 明人氏	10月4日	木曾駒高原ホテル
第3講 「変化の時代を生き抜く経営」	J.フロント リテイリング㈱ 相談役 岡田 邦彦氏	10月5日	木曾駒高原ホテル
第4講 「What is Roots?」	大同特殊鋼㈱ 取締役会長 小澤 正俊氏	10月5日	木曾駒高原ホテル
第5講 「元気な日本を創ろう一次世代リーダーへの期待」	トヨタ自動車㈱ 相談役 渡辺 捷昭氏	12月13日	中産連ビル
第6講 「金融危機の深層と企業経営」	東海東京証券㈱ 取締役会長 石田 建昭氏	平成25年 1月24日	中産連ビル
第7講 「危機におけるリーダーのあり方」	中部電力㈱ 相談役 川口 文夫氏	1月24日	中産連ビル

・塾の締めくくりとして、成果発表会を平成25年3月8日に名古屋東急ホテルにて、発起人、講師、参加企業の会長、社長をはじめ経営者の方々をお招きし、実施。

2) 木曾駒塾OB会

木曾駒塾第1回OB会を開催

と き：平成24年11月26日

ところ：名古屋東急ホテル

講 師：トヨタ自動車㈱ 相談役 渡辺 捷昭氏

テーマ：「激動の時代の中で、皆さんに求められるもの」

参加者：木曾駒塾1期生・2期生 37名

(2) トヨタ生産方式研究会

1) 「トヨタ生産方式研究会」

長引く不況の中でも、明日への一步を模索する企業に向け、時代の変化と共に進化し、かつ時代の変化の中でも不変であるトヨタ生産方式の本質をトヨタ自動車ならびにトヨタグループ各社のご協力の下、より一層正しく普及啓蒙していくことを主眼に活動し、春季と秋季の2回の研究会を実施。

・研究会概要

【春季開催】

特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車㈱ 専務役員 須藤 誠一氏

内 容 と 講 師	期 間
第68回 PART I 「改善の進め方」講座 【参加者300名】 (春季) 講師：トヨタ自動車㈱ 生産調査室室長 二之夕 裕美氏 ほか6名	平成24年 5月16日～18日 (3日間)
第59回 PART II 「作業改善」研修 【参加者 48名】 講師：トヨタ自動車㈱ 生産調査室室長 二之夕 裕美氏 同部主査 西本 勝利氏 石井 渉氏 会場：アイシン精機㈱ 新豊工場 (株)デンソー 西尾工場 トヨタ紡織㈱ 高岡工場 豊田合成㈱ 平和町工場	平成24年 6月17日～22日 (6日間)

【秋季開催】

特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車㈱ 常務役員 三浦 憲二氏

内 容 と 講 師	期 間
第69回 PART I 「改善の進め方」講座 【参加者256名】 (秋季) 講師：トヨタ自動車㈱ 生産調査室室長 二之夕 裕美氏 ほか6名	平成24年 10月10日～12日 (3日間)
第60回 PART II 「作業改善」研修 【参加者 48名】 講師：トヨタ自動車㈱ 生産調査室室長 二之夕 裕美氏 同部主査 西本 勝利氏 石井 渉氏 会場：アイシン精機㈱ 新豊工場 (株)東海理化 萩工場 トヨタ紡織㈱ 刈谷工場 豊田合成㈱ 尾西工場	平成24年 10月28日～11月2日 (6日間)

2) 「大野耐一氏 生誕100周年記念 特別フォーラム」

トヨタ生産方式の生みの親である大野耐一氏の生誕100周年を記念し、大野氏の薫陶を受けた方々を講師陣に特別フォーラムを開催。

・フォーラム概要

日 時：平成25年3月11日(月) 13:15～17:00

場 所：名古屋観光ホテル「那古の間」

参加者：1,250名

【カリキュラム】

第一部 基調講演

「大野耐一氏に教わった事」

講演者 トヨタ自動車(株) 代表取締役会長 張 富士夫氏

第二部 パネルディスカッション

「トヨタ生産方式の『草創期』『発展期』『そして未来に向けて』」

パネリスト (株)豊田自動織機 顧問 磯谷 智生氏

トヨタ自動車(株) 顧問・技監 池淵 浩介氏

トヨタ紡織(株) 特別顧問 好川 純一氏

トヨタ自動車(株) 技監 林 南八氏

トヨタ紡織(株) 相談役 箕浦 輝幸氏

トヨタ自動車(株) 生産管理部 生産調査室 室長

二之夕 裕美氏

コーディネーター (一社)中部産業連盟 副会長 竹内 弘之

(3) 未来産業・技術・フォーラム展

未来を創造する「新産業フォーラム・未来展2012」

開催期間：平成24年7月23日(月)～25日(水)

会 場：吹上ホール (名古屋市中小企業振興会館)

主 催：(一社)中部産業連盟

共 催：中日新聞社

後 援：経済産業省中部経済産業局／愛知県／名古屋市／名古屋商工会議所／(一社)中部経済連合会／(独)中小企業基盤整備機構中部本部／日本貿易振興機構 (JETRO) 名古屋貿易情報センター／国土交通省中部運輸局／(一社)日本自動車部品工業会中部支部／愛知県中小企業団体中央会／名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター (順不同)

特 徴：「新産業フォーラムセッション」と「展示セッション」より構成

新産業フォーラムセッション：全45講演

◇オープニングセッション（7月23日）…4講演

- ①iP S細胞の原点から未来像へ（京都大学）
- ②I Tと産業の未来（慶應義塾大学）
- ③未来予測レポート（アクアビット）
- ④未来のモビリティ社会に向けて（トヨタ自動車）

◇新産業フォーラムセッション（7月24日）…20講演

- ①真の世界一を目指して（大同大学／宇宙航空研究開発機構（JAXA））
- ②光技術で未来に挑戦！（浜松ホトニクス）
- ③10ペタフロップスへの挑戦（富士通）
- ④スマートデバイスの拡大と今後の展望（エヌ・ティ・ティ・ドコモ）
- ⑤エネルギーを地産地消「エコハウス」（シャープ）
- ⑥医食住同源（大和ハウス工業）
- ⑦自転車型ロボット『ムラタセイサク君[®]』の開発と活用（村田製作所）
- ⑧医療介護分野への進出「介護支援ロボット”RIBA-II”」の開発（東海ゴム工業）
- ⑨乗り物の未来とデザイン（川崎重工業）
- ⑩車づくりにおけるNISSANのデザイン力（日産自動車）
- ⑪トヨタが考える近未来のモビリティとデザイン（トヨタ自動車）
- ⑫HONDA 不常識のデザイン（本田技術研究所）
- ⑬先端材料が車を変える（東レ）
- ⑭ネットワーク社会に役立つ技術（イビデン）
- ⑮新素材で切り拓く未来（東京大学大学院）
- ⑯化学強化用ガラス『DragontrailTM』で世界を変える（旭硝子）
- ⑰製品力強化を軸に自動車部品事業のグローバル化を推進（光精工）
- ⑱薄板金属加工を極めながら『ものづくりモール』構想で新たな加工業のあるべき姿に挑戦（最上インクス）
- ⑲超音波技術で広がる無限の可能性（本多電子）
- ⑳F1で勝つ超低摩擦の金属表面加工技術（不二機販）

◇新産業フォーラムセッション（7月25日）…21講演

- ①未来を創るエネルギー「核融合」（自然科学研究機構 核融合科学研究所）
- ②日本をエネルギーに困らない国に！（東京大学大学院）
- ③超電導磁気浮上鉄道の実用化に向けて（東海旅客鉄道）
- ④リニア新幹線と名古屋駅地区の街づくり（名古屋駅地区街づくり協議会／東和不動産）
- ⑤リニア新幹線と中部の未来（名古屋大学大学院）
- ⑥鉄腕アトムと知能ロボットへの夢（名古屋大学大学院）
- ⑦ロボット技術による国際救助隊サンダーバード構想（京都大学大学院）
- ⑧“どこでもドア”を実現する技術（早稲田大学）
- ⑨パートナーロボットの実用化に向けて（トヨタ自動車）
- ⑩イノベーションとソリューションを生み出すデザインの力（静岡文化芸術大学）
- ⑪サービスをデザインする（東芝）
- ⑫新市場の創造はデザイン思考で（富士通デザイン）
- ⑬スマートグリッド・スマートコミュニティへの取り組み（三菱電機）
- ⑭創エネルギービジネスへの挑戦（ニッセイ）
- ⑮次世代の機械と次世代の加工技術（森精機製作所）
- ⑯未来を拓く住宅設備の世界（リンナイ）
- ⑰スマートハウス開発への取り組み（トヨタホーム）
- ⑱エコカー時代の展望（タウンEV）
- ⑲人工乳房で乳がん女性に希望を（マエダモールド）
- ⑳次世代製造システム（入曽精密）
- ㉑世界ナンバーワンの技術で勝負！（樹研工業）

展示セッション：5つのゾーンより構成

- A. 未来テーマゾーン（モビリティ、居住空間、医療・ロボット、新エネルギーなど）
TOYOTA Fun-Vii、MR J、リニア新幹線、ムラタセイサク君[®]他
- B. 新技術発表ゾーン（新素材・技術など）
TEEWAVE[®]AR1、スーパーコンピュータ、超音波カッター他
- C. 中小企業発表ゾーン（一押し技術、ピカー技術など）
100分の1グラム歯車、人工ボディ製品、植物繊維製品他
- D. 大学研究発表ゾーン（大学などの研究成果・活動内容など）
iPS細胞研究発表、3次元計測技術他
- E. IT（情報技術）革命ゾーン（各種ソリューション技術、クラウドなど）
Microsoft Office 365、クラウド型プラットフォーム他

出展者一覧

東海旅客鉄道、三菱航空機、タウンEV、村田製作所、構造計画研究所、核融合科学研究所、リンナイ、シャープ、東レ、トヨタ自動車、エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海、ニッセイ、本多電子、メイラ、富士通、日本良品貿易、最上インクス、マルヤス工業、セキソー、神谷商会、光精工、マエダモールド、不二機販、入曽精密、樹研工業、京都大学iPS細胞研究所、名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター、名古屋工業大学産学官連携センター、岐阜大学、岐阜工業高等専門学校、鈴鹿工業高等専門学校、沖縄県、中部経済産業局、愛知県「アジアビジネス情報提供事業」、名古屋市「中小企業海外販路開拓支援事業」、ジャスウィル、アイガ、サードウェーブ、ユーアイウッド、ニフティ、エスワイシステム、日本マイクロシステム、セントラルソフトサービス、エスプリ、応研、ブルーノート、名古屋コンサル21、キッセイコムテック、デジタルアーツ、SOOP、コベルコシステム、トッパンエムアンドアイ、三和コムテック、シーエスイー、日本アイ・ビー・エム、セールスフォース・ドットコム、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、日本電信電話、サクシード

来場者総数 4,028名

7月23日(月)	オープニングセッション	324名
7月24日(火)	フォーラムセッション・展示セッション	1,967名
7月25日(水)	フォーラムセッション・展示セッション	1,737名

(4) コンサルティング事業部

1) 「中小企業診断士登録養成課程」運営室

「中小企業診断士登録養成課程」(14名)

中小企業に対して経営診断および経営に関するアドバイスを与える中小企業診断士を養成するために、中小企業診断士登録養成課程を平成24年3月3日に開講し、平成25年3月24日に修了した。

2) 国際研修部

セミナー名	期間	研修日数
組織的に成功する英語学習ー語学習得の具体的方法	平成24年5月22日～10月16日	2
海外現地法人で活かす「異文化理解」と「円滑なコミュニケーション」	平成24年6月19日～11月13日	2
2012年「日英対訳で学ぶマネジメント」	平成24年4月19日～10月11日	6
海外で成功する改善業務 「指導の仕方」「指導の順序」	平成24年7月26日～12月4日	2
米国ノートルダム大学／中産連共同企画 第16回 「エグゼクティブ短期特別プログラム」	現地研修： 平成24年6月24日～7月13日 事前（国内）研修： 平成24年2月～6月	20 5
「MBAの英語特別プログラム」	平成24年2月18日～6月16日	16

(5) 経営企画営業支援部

[職場活性化センター]

名古屋セミナー

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
初めてのメンタルヘルスケア・セルフケア	メンタル不全を予防する	平成24年 4月7日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 委嘱カウンセラー 早川 眞三枝氏	5
上手な仕事の教え方・伝え方		7月2日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 主任研究員 杉藤 里美	6
傾聴トレーニング	メンタル不全を予防する	7月10日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 委嘱カウンセラー 早川 眞三枝氏	4
ヒューマンエラーへの対策		10月29日	中産連ビル 研修室	中根技術経営研究所 中根 浩次氏	7
問題解決を志向した関わり方	管理監督者のためのラインケア研修	11月20日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 委嘱カウンセラー 早川 眞三枝氏	3
上手な仕事の教え方・伝え方		12月3日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 主任研究員 杉藤 里美	16
上手な仕事の教え方・伝え方		平成25年 3月5日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 主任研究員 杉藤 里美	10

(6) マネジメント研修事業部

フォーラム・研究会・海外洋上研修、公開研修等の企画実施

分野	プロジェクト数	社数	参加者数
公開研修事業	348	2,884	4,007
海外洋上研修事業	1	76	140
海外受け入れ研修	19	129	495
補助事業	19		
受託事業	39	319	968
<合計>	426	3,408	5,610

1) 公開研修事業

①フォーラム事業 (1コース)

モノづくり応援フォーラム

テーマ(内容)	開催日	講師名	参加者数
頑張る日本の製造業!!	平成25年3月19日	トヨタ自動車(株) 常務役員 高江 暁氏 他9名	111

②研究会 (2コース)

モノづくり研究会 (全7回コース)、

ヤング・エグゼクティブ・フォーラム (全12回コース)

③階層別研修（63コース）

取締役研修、管理者研修、監督者研修、中堅社員の基本研修、ワンランク上の女性リーダーの仕事術、新入社員研修シリーズ、接遇・ビジネスマナー研修、秘書実務研修、部下の扱い方・指示の出し方、現場管理能力向上研修、新入社員教育（浜松）等

④生産部門研修（99コース）

T W I 初級管理者研修、現場中堅社員のための考える力育成、製造現場社員研修、実践部下管理研修、現場経営者研修（工場経営）、製造部課長研修、現場リーダー実践研修、現場リーダーの時間活用術、現場リーダーのための決断力・指導力・問題解決力向上シミュレーション、製造現場リーダーのための改善力向上、1日でわかる生産管理のすべて、I E手法による現場改善の進め方、製造現場リーダースキルアップ研修（金沢）、3H対策による不良未然防止の進め方、機械設備の「チョコ停」削減、生産納期管理の有効な進め方、製造現場の「問題発見・着眼力」向上研修、標準時間の上手な設定と活用の進め方、モノづくり現場のムダ退治、ポカミス撲滅への体質改善と対策の進め方（名古屋・金沢）、よくわかる現場の電気・P C、よくわかる現場の油圧・空気圧、失敗しない多能工育成のための具体的手法、品質管理セミナー、5Sセミナー、機械加工入門研修、検査業務の取り組みと進め方、外注品質向上対策と協力工場の育成、現場のムダ取りから作業改善、レイアウト改善、製造現場の段取り改善、プレス作業改善、全社的な品質保証活動の在り方、ポンチ絵コミュニケーション、トヨタ式ナゼ5・問題解決S T E P、なぜなぜを合理的に考える職場中堅社員の仕事術、なぜなぜ分析トレーニング、Q Cのモノの見方・考え方＋問題解決、見える化マネジメント、知恵ある簡易自動化の進め方、競争力のあるこれからの生産管理、生産計画と生産管理の進め方、生産段階でのポカミス防止の進め方、自工程完結品質造り込み強化方法、資材調達における見積書の比較ポイントと活用法、よくわかる熱処理の基礎と最新動向、意思決定で迷わない経済計算セミナー、新任班長研修（浜松）、現場作業員への仕事の教え方・伝え方（浜松）、なぜなぜ分析の進め方（浜松、福岡、神戸、東京）、はじめて学ぶ生産管理の基本（浜松）、5S＋現場のムダ取り（浜松）、不良流出防止の為のQ Aネットワーク作成の基礎（浜松）、ポカミスの撲滅とポカヨケの仕組みづくり（浜松）、現場の見える化＋7つのムダ取り（浜松）、設備の日常点検・管理の進め方（浜松）、標準作業の策定研修（浜松）、工場設備保全に必要な電気の基本（浜松）、やさしい設備の日常点検管理の進め方（金沢）、職場の5S（金沢）等

⑤原価管理・購買部門研修（17コース）

原価のしくみと業務への活用法、新方式による役に立つ原価情報作成法、購買部課長の実務研修、購買・外注担当者の基本と実務研修、単価交渉・値引き交渉あの手この手、設計段階での原価のつかみ方と原価低減のすすめ方（名古屋・金沢）、V Eスペシャリスト（V E S）養成講座、新・V Eの基本実践セミナー、購買管理業務基礎（浜松）、資材調達における見積書の比較ポイントと活用法（浜松）等

⑥営業部門研修（32コース）

営業マネージャーの役割と実務、強い営業チームの作り方、第一線営業職実践研修、技術営業担当に求められる知識と実務、営業初心者（速）戦力にする実践営業研修、営業鉄則と商談話

術、言葉で顧客を動かす営業コミュニケーション、セールストーク、営業アシスタント実践研修、会社の業績を伸ばすクレーム対応の極意、お客様を感動させる気づかひの技術、売れる商品をつくるマーケティング、新任営業担当者基礎力養成、受注を勝ち取る価格設定と原価見積のすすめ方、折衝力・交渉力修得研修、与信管理基礎研修、提案型営業、新規開拓

⑦人事・経理・財務部門研修（17コース）

人事担当者養成講座、決算書、簿記、原価管理の基本、年末調整

⑧物流部門研修（3コース）

実地棚卸と在庫削減の基礎実務、物流改善の考え方と進め方、物流コスト削減と物流業務の生産性向上

⑨ヒューマンスキル・ビジネススキルアップ研修（66コース）

職場が変わる人間関係づくり、上司のコーチング術、上司の質問力強化研修、人を動かすビジネスコミュニケーション術、グローバル化時代の適応性を高めるコミュニケーション力、コーチングを使った製造現場の部下育成術、人を育てるほめ方・叱り方、叱り方の技術、職場のメンタルヘルス（心の安全研修）、聴き上手になる研修、チーム力アップのためのコーチング、自ら考え行動する部下力（フォロワーシップ）の磨き方、プラス思考の習得とチャレンジ精神の育成、ポジティブ心理学の実践、決め事を守らせるには、報連相研修、会議ファシリテーター養成研修、契約書の基礎知識と実務、管理監督者が推進する実践的報連相、行動力向上、ロジカルシンキング、A3用紙・1枚で仕上げる企画書作成術、アイデア・思考を見える化させる読解力×図解力スキルアップ、段取り上手の仕事術、聞き手の心を動かすプレゼンテーション、部下の納得度を高め行動につなげる仕事の教え方、気配り上手の仕事術、職場モチベーションの創り方、打たれ強く成長するメンタルタフネスの育て方、リーダーシップ養成研修、成長し続ける会社実践しているドラッカーの5つの質問、コミュニケーションマナー、若手・中堅社員の異業種交流研修会、判断力と全体最適視点を養うインバケット研修、社会保険労務士講座横断整理コース、決め事（ルール）を守らせるには研修（浜松）、仕事の質を高めるPDCA研修（浜松、名古屋）等

⑩技術・開発・設計部門研修（38コース）

図面の見方・読み方、製図技能教室、機械設計製図教室、はじめて学ぶ設計の心得と実務、商品企画力・開発力の基本、FMEA-FTAの実践、技術者のための文章力向上研修、超低コスト化設計手法、技術者のための自己表現術、設計DRの上手な進め方、機械材料の基礎、工場エアの省エネ、単線接続図+三線接続図+配線図、電子回路設計の基本、幾何公差設計講座、電気回路の故障診断の基礎と応用、治具・取付具位置決め設計の上手な進め方、設計のムダ退治とコストダウン、設計管理者・リーダーが知っておくべきマネジメント、設計のボカミス撲滅と検図のしくみづくり、加工知識と設計見積力による設計力向上の進め方、DRBFMの効果的な進め方（浜松、名古屋）、機械要素と機械図面の見方・読み方（浜松）等

⑪貿易部門研修（2コース）

貿易基礎実務

⑫食品製造部門研修（8コース）

クレーム対応、食品衛生指導法、食品安全とコストダウン、食品工場の現場力アップ、食品工場

の生産性向上

2) 海外洋上研修事業

第28回中産連“創造の船”

実施期間：平成24年10月21日～10月27日（7日間）

訪問都市：台北・台中・台南・高雄

3) 海外受け入れ研修

中国製造業企業管理技術訪日研修団、ロシア企業トヨタ生産方式講演会&見学会等

4) 補助事業

①「中部地域次世代自動車産業活性化のための人材養成事業・技術担当役員のための次世代自動車最新技術動向講座」（経済産業省中部経済産業局補助事業）

②「工学系学生・若手技術者のためのよくわかる次世代自動車講座」（経済産業省中部経済産業局補助事業）

5) 受託事業

中小企業基盤整備機構中部本部 中小企業大学校瀬戸校

・公開研修企画運營業務

[マネジメント貢献部]

1) 技術経営研究会（MOT）〈3期〉（日本政策投資銀行と共催）（12社）

平成24年6月28日～平成25年2月26日（7回）

内容：技術経営にかかる戦略分析の「フレーム・道具」を用いて、受講者自身が自社分析（現況・課題の分析、5～10年後のあるべき姿（ビジョン）の構想、ビジョン達成のための技術戦略シナリオ設定）を行い、その結果を経営者（研修責任者）に報告。

日時	内容	講師
第1回 平成24年 6月28日	基本レクチャー（研修ガイダンス）	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター長 島 裕氏
	戦略思考（講義）	（一社）中部産業連盟 山本 康司
	基本レクチャー（研修ガイダンス）	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター長 島 裕氏
	事業環境分析Ⅰ：外部環境分析（講義） ケース分析演習Ⅰ（外部環境分析編）（演習）	
第2回 7月19日	経営戦略の基本（講義）	九州大学大学院統合新領域学府 オートモーティブサイエンス専攻 准教授 目代 武史氏
	マーケティング戦略の基礎（講義）	
	MOT基本（講義）	
第3回 9月19日	事業環境分析Ⅱ：内部環境分析（講義） ケース分析演習Ⅱ（内部環境分析編）（演習）	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター長 島 裕氏
	ワールドカフェ（外部環境）（ディスカッション）	㈱日本政策投資銀行 ネットワーク
	イノベーション創出（講義）	一橋大学 大学院商学研究科・商学部 イノベーション研究センター 准教授 清水 洋氏

日 時	内 容	講 師
第4回 10月18日	財務分析（Ⅰ）（講義）	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター 調査役 廣瀬 真幸氏
	財務分析（Ⅱ）：ビジネスプランニング（講義）	
	企業価値と経営戦略	㈱日本経済研究所 ソリューション本部 アドバイザリー・ サービス部 部長 西田 陽介氏
	卒業生からの講話（講演）	㈱オンダ製作所 商品開発部 次長 杉島 公彦氏
第5回 11月16日	事業環境分析Ⅲ：ビジョン分析（講義） ケース分析演習Ⅲ（ビジョン分析編）（演習）	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター長 島 裕氏
	事業環境分析Ⅳ：戦略分析（講義） ケース分析演習Ⅳ（戦略分析編）（演習）	
第6回 二日開催 12月19日 12月20日	<講義・演習> グローバル人材育成／海外での法務・財務管理（講義）	㈱パナソニックインターナショナル （パナソニックグループ）
	<交流会> MOT先進企業の見学会／他地域製造業とのディスカッション	東レ㈱ 等
第7回 平成25年 2月26日	品質管理と人材育成（講義）	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター 参事役 平井 勝利氏
	人事・組織戦略（講義）	㈱価値総合研究所 マネジメントコンサルティング事業部 コンサルタント 岩崎 孝氏
	ケース分析グループ発表	ケース協力企業
	研修総括（講義）	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター長 島 裕氏

2) グローバルマネジメントプロジェクト

平成25年2月～平成25年3月 計2回実施（12社参加）

内 容：海外人材に特化した研修とともに異文化理解力を備えた日本人社員のグローバル化教育、人事処遇制度、生産体制の強化・改善など「グローバルビジネスの課題解決」というテーマの下に、人材育成・組織改革のノウハウを整理・充実化を図る。

開 催 日	内 容	講 師
平成25年2月15日	中国ビジネスの明暗	東海日中貿易センター 事務局次長 大野 大介氏
平成25年3月5日	中国ビジネスで勝利するための交渉術	海外職業訓練協会 国際アドバイザー 平沢 健一氏

（北陸経済連合会からの委託事業）

北陸企業の国際化支援セミナー（11社）

平成24年6月29日～平成25年1月16日（9回）

経営者向け（4回） 平成24年6月29日～平成24年12月11日

担当者向け（5回） 平成24年8月3日～平成25年1月16日

【経営者向け】

第1回	「国際化の必要性」 ～企業環境の変化 進出によるメリットとデメリット	甲南大学 経営学部 教授 安積 敏政氏
第2回	「海外事業展開のための事前準備」 ～目的の明確化、事前調査と進出先の選定、HR構築準備、FS	(一社)中部産業連盟 理事 コンサルティング事業部長 兼国際研修部長 福山 穰
第3回	「現地拠点設立の留意」 ～現地拠点進出計画策定、拠点設立のための準備、赴任者育成	あいち産業振興機構専門アドバイザー (一社)海外事業支援センター名古屋 アドバイザー 松嶋 威央氏
第4回	「拠点運営の留意」 ～人事労務、工場運営、財務管理、再投資など	(一社)中部産業連盟 上席主任コンサルタント 石原 聖治

【担当者向け】

第1回	「事前の情報収集、事業計画の作成、人事・資金の確保、販売先の確保」(経営企画対象)	(一社)中部産業連盟 理事 コンサルティング事業部長 兼国際研修部長 福山 穰
第2回	「会社設立、輸出入手続き、社内体制の整備」 (経営企画・総務対象)	(一社)海外事業支援センター名古屋 代表理事 高橋 和彦氏
第3回	「人事・労務管理、現地人材の確保・育成、赴任者の育成」(経営企画・人事対象)	(一社)中部産業連盟 上席主任コンサルタント 石原 聖治
第4回	「海外展開を安定させるための課題と販売体制の整備」(経営企画・営業・現地管理者対象)	(一社)中部産業連盟 主任コンサルタント 柘植 吉則
第5回	「財務管理、再投資などの資金戦略」(経営企画・経理対象)	グローバル人材育成センター (G-JIC)アドバイザー 北村 達雄氏

3) 経営後継者養成アカデミー (略称: JEA) (研修修了生263名)

- ・平成24年4月～平成25年3月 約220日研修実施
- ・本年度は、第45期生として3名の研修生を迎え実施した。
- ・JEA出身者のうち130名以上が先代の経営を引き継ぎ活躍。

4) 経営後継者研修塾 (JEA短期集中コース)

- ・平成24年9月～平成25年3月 計20回実施 (7社参加)
- ・内 容: 経営後継者・経営幹部育成のノウハウを活かし、経営のあり方や事業戦略・事業継承等に関する知識を磨くための研修塾。

5) 平成24年度地域新成長産業創出促進事業【経済産業省中部経済産業局補助事業】

- ・契約期間: 平成24年6月26日～平成25年3月31日
- ・内 容: 昨年度立ち上げた「次世代自動車ビジネス推進プロジェクト」では、700社を超える会員企業や産学官のネットワーク、マネジメント・人材育成に関するノウハウ、産学官ネットワーク等を活かした次世代自動車ビジネスの推進を行ってきた。
今年度は昨年度の事業をさらに発展させ、①グレーターナゴヤ圏域等における新たな

モビリティ関連技術・サービス等の活用促進に向けた、地域交通デザインも含めたビジネスモデルの策定、②ニーズ提供・マッチング型によるモビリティビジネス創出支援、③大規模産業見本市と連携した中部地域の次世代自動車（モビリティ）関連事業の各取組みを実施し、企業間連携や産学官連携を促進しながら、新たなモビリティビジネス創出の強化を図った。

6) 平成24年度地域企業立地促進等事業「中部地域輸送機械関連産業活性化（防災・減災対策）人材養成等事業」【経済産業省中部経済産業局補助事業】

・ 契約期間：平成24年9月3日～平成25年3月29日

・ 内 容：中部地域は、自動車、航空機をはじめとした輸送用機械器具の全国シェアが41.9%と突出しており、主要組立事業者の製造拠点及びそれを支える中堅・中小部品加工事業者等が多数立地する国内最大の輸送機械関連産業の集積地である。

一方、平成23年に発生した東日本大震災により、輸送機械器具関連産業を中心としたサプライチェーンにおいて原材料、部品、部材の調達が困難となり事業活動の復旧が長期化し、生産活動に多大な影響を及ぼしたことにより、地域単位での防災・減災力が企業立地にかかる判断基準の1つとして重要性を増している。また、東日本大震災後、国内製造業の7割の事業者により「サプライチェーンの海外移転が加速する可能性がある」旨、指摘された。

よって、中部地域において、広域災害が発生時において地域経済への影響が特に大きい輸送機械器具（自動車・航空機）関連産業にかかる地域連携BCP推進のための防災・減災対策を行うことを目的とし、中部地域産業防災セミナーを実施することにより、当該関連産業にかかる事業所の新增設、新規雇用創出に繋がる企業立地環境整備するとともに、中部地域を中心として国内産業空洞化の防止を図った。

なお、具体的には、セミナーを推進するために学識経験者及び地方自治体、企業、専門家からなる委員会を3回実施するとともに、今回、名古屋と三重（津市）において、それぞれ4回のセミナーを開催し、地域連携BCPへの取り組み促進し、それを進める人材の育成に注力した。

(7) 国際標準化事業部（1,955名）

1) 公開セミナー

① ISO9001関連（122回 1,065名）

- ・ 規格の解説
- ・ 内部監査員研修 *フォーマル、レベルアップ、スキルアップ、プロセス型（名古屋、浜松、静岡、大阪、仙台、富山、金沢、福井、松本、高松、岡山、福岡）
- ・ TS 16949規格の解説／内部監査員コース
- ・ VDA-QMC 審査員／内部監査員／6.3プロセス監査コース
- ・ 経営に役に立つ ISO9001
- ・ 品質方針－目標－プロセス展開実践プログラム
- ・ 文書スリム化実践プログラム

- ・ 19011：2011規格改定概要紹介セミナー
 - ・ C P D 研修
 - ・ 審査員養成コース（5日間コース：3回 名古屋）他
- ② I S O 14001 関連（81回 705名）
- ・ 規格の解説
 - ・ 内部監査員研修 *フォーマル・スキルアップ（名古屋、浜松、静岡、大阪、仙台、富山、金沢、岡山、福岡）
 - ・ 経営に役に立つ I S O 14001
 - ・ 環境目標の設定と管理
 - ・ C P D 研修
 - ・ リフレッシュコース
 - ・ 審査員養成コース（5日間コース：4回 名古屋）他
- ③ O H S A S 18001（労働安全衛生マネジメントシステム）（7回 44名）
- ・ 規格の解説
 - ・ 内部監査員研修
 - ・ リスクアセスメント研修
- ④ I S O 27001（情報セキュリティマネジメントシステム）（5回 31名）
- ・ 規格の解説
 - ・ 内部監査員研修
- ⑤ プライバシーマーク（個人情報保護マネジメントシステム）（7回 58名）
- ・ 規格の解説
 - ・ 内部監査員研修
 - ・ 個人情報保護法理解セミナー
 - ・ P M S 構築／運用研修
- ⑥ I S O 22000（食品安全マネジメントシステム）（3回 12名）
- ・ 規格の解説
 - ・ 内部監査員研修
- ⑦ I S O 39001（道路交通安全マネジメントシステム）（2回 20名）
- ⑧ V M（2回 14名）
- 2) 海外視察団
- 第15回 欧州環境視察団（6社 6名／事務局2名を含め総勢8名）
- ・ 目 的：「持続可能な発展にともなう環境経営」「マネジメントとしての効果的な取組み」を環境先進国である欧州の企業の現場を見る。
 - ・ 日 程：平成24年7月8日(日)～15日(日) 8日間
 - ・ 訪問国：ドイツ・イギリス

公 開 研 修	実施回数	延参加者数
I S O 9001研修 (含 T S 16949)	103	912
9001審査員コース (5日間)	3	16
V D A T S 16949審査員・1st 2ndコース・V D A 6. 3	7	57
I S O 9001 (計)	113	985
I S O 14001研修	77	686
14001審査員コース (5日間)	4	19
欧州環境視察団	1	6
I S O 14001 (計)	82	711
I S O 27001	5	31
Pマーク	7	58
I S O 27001・Pマーク (計)	12	89
O H S A S 18001研修	7	44
I S O 22000 (H A C C P) 研修	3	12
計測器セミナー	1	13
V M研修	2	14
統計的手法セミナー	1	5
39001動向と企業での対応セミナー	2	20
I S O研究会 (研究会員：9社10名)	7	62
総 合 計	230回	1,955名

[情報セキュリティ監査センター] (7名)

クラウドコンサルタント養成コース (2回 7名)

[Pマーク審査センター] (58名)

J I P D E C の認定を受けたプライバシーマーク審査研修機関 (研修機関コード19) として、プライバシーマーク審査員研修・プライバシーマークフォローアップ研修等を実施

1) プライバシーマーク審査員研修 (平成24年7月開催) 1名参加

プライバシーマーク審査員研修 (平成24年12月開催) 3名参加

2) プライバシーマークフォローアップ研修 (平成24年6月開催) 10名参加

プライバシーマークフォローアップ研修 (平成24年1月開催) 22名参加

3) 中小事業者様のためのプライバシーマークセミナー

(平成24年10月開催) 18名参加

(平成25年2月開催) 4名参加

(8) マネジメント開発事業部

1) JMS推進機構

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
JMS推進機構 特別企画 「当たり前のこと」実践豆知識 第4集・第5集 発刊報告会	～売れるモノづくりを実現する現場マネジメント人材の育成～ ・基調講演 ・研究会活動報告 ・JMSからの発信	平成24年 12月10日	名古屋ガーデンパレス	【基調講演】 ㈱デンソー 取締役副社長 土屋 総二郎氏 【活動報告】 NECアクセステクニカ㈱ 執行役員 森山 慶一氏 【JMS発信】 リンナイ㈱ 常務執行役員 長坂 隆氏 トヨタ自動車㈱ 調達技術室室長 好田 博昭氏	124

2) 実践型通年プログラム

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
JMS管理能力向上プログラム	～サバイバル時代を生き抜くために～ 期待に応える部隊長をつくる！	各月開催 平成24年 4月18日 5月16日 6月13日 7月18日 8月22日 9月12日 10月10日 11月14日 12月12日 平成25年 1月16日 2月13日 3月13日	中産連ビル 研修室 他	(一社)中部産業連盟 客員研究員 太田 昭男	16
実践！TPSに基づくフォアマン育成研修	監督者の五大任務を学び現場の管理能力の向上を図る	平成24年 6月27日 8月22日 10月24日 12月7日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 委嘱コンサルタント 野末 真克 鈴木 勝年 吉尾 孝雄	13

3) 実践型プログラム

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
「モノと情報と時間の流れ図」の描き方と活かし方	激動の時代に、新たなモノづくり競争力を導き出す一手！	平成24年 6月1日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 委嘱コンサルタント 小山 信次	20
		11月30日			20
「標準作業と改善」実践 シミュレーション	模擬ラインでの標準3票を用いた改善とその着眼点について「実」体験、「即」実践！	7月12日 13日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 委嘱コンサルタント 野末 真克	15
		12月3日 4日			10

4) その他セミナー

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
生産技術セミナー	競争力を生み出す生産技術	平成24年 6月25日	名古屋国際 センター	(一社)中部産業連盟 主任コンサルタント 赤根 松実	19
		8月30日	岡崎市 図書館交流 プラザ		16
		10月23日	豊橋市民 センター		7
		11月29日	アクトシティ 浜松		7
		12月14日	名古屋国際 センター		19
		平成25年 2月7日	名古屋国際 センター		31
		3月5日	岡崎市 図書館交流 プラザ		29
生産技術セミナー	本気で取り組む Value Engineering 基礎セミナー	平成24年 4月23日 24日 25日	浜名湖 キャリアック	(一社)中部産業連盟 委嘱コンサルタント 佐藤 嘉彦	20
		11月28日 29日 30日	クリエート浜松		21
		平成25年 2月12日 13日 14日	クリエート浜松		23
生産技術セミナー	コスト・イノベーション 設計を学ぶ	1月23日	ウインクあいち	(一社)中部産業連盟 委嘱コンサルタント 佐藤 嘉彦	16

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
JMS公開セミナー 「生産技術編」	“生産技術”あるべき姿 へのアプローチ	平成24年 6月27日	神戸国際 会館セミナー ハウス	(一社)中部産業連盟 客員研究員 太田 昭男	3
		10月17日	東京八重洲 ホール		14
		平成25年 1月30日	中産連ビル 研修室		7
JMS公開セミナー 「現場管理と改善編」	“現場管理と改善”ある べき姿へのアプローチ	平成24年 7月19日	神戸国際 会館セミナー ハウス	(一社)中部産業連盟 客員研究員 太田 昭男	3
		10月30日	東京八重洲 ホール		6
JMS公開セミナー 「現場管理と改善海外特 別編」	現地に対応した仕事の 「伝え方・教え方」を知る	9月7日	中産連ビル 研修室	(一社)中部産業連盟 委嘱コンサルタント 鈴木 雅文	7
営業力強化プログラム	あなたの会社の営業社員 を市場調査マーケッター に変える！	5月8日	東京八重洲 ホール	(株)ランチェスター マネジメント 代表取締役 河辺 佳朗氏	7
		6月19日	名古屋国際 センター		3
営業力強化プログラム	営業マネジメントで次世 代リーダーを目指す！ (原理原則編)	9月4日	名古屋国際 センター	(株)ランチェスター マネジメント 代表取締役 河辺 佳朗氏	9
営業力強化プログラム (講演会)	これからの時代切り拓く 経営と営業戦略	12月6日	ウインクあいち	(株)ジーエスエレテック 代表取締役 惣ト 邦博氏 (株)中部経済新聞社 津田 一孝氏	84
モノづくりトップセミナー	「脱」常識から、将来を 見据えた一手を探る！	12月19日	東京八重洲 ホール	(一社)中部産業連盟 理事 佐々木 元 委嘱コンサルタント 小山 信次	15

(9) 東京本部 (844人)

1) 講演会・大会を実施

講演会・大会	テーマ (内容)	開催日	開催場所	講師名 (発表企業名)	参加者数
VM/見える経営 事例発表大会	見える経営が組織と 人財を活性化！経営 力を最大限に引き出 す！	平成24年7月4日	アルカディア 市ヶ谷	①ミコト∞マシナリー株 ②株幸大ハイテック	137

2) 公開セミナー (45コース 574名)

①生産・在庫・5S関連

- ・生産・事務現場／5S展開セミナー (2コース) 12名
- ・5Sレベルアップセミナー (2コース) 16名
- ・事務所の5S・ファイリング推進セミナー (4コース) 39名
- ・生産現場の目で見える管理実践セミナー 13名
- ・生産管理改善実践手法習得セミナー 10名
- ・生産現場改革による徹底したコストダウンの進め方 (2コース) 23名
- ・製造リードタイム短縮を確実に実現するためのノウハウ 20名
- ・業務改革成功のノウハウとその進め方 (2コース) 14名
- ・管理・間接部門「VM／見える管理」実践セミナー 8名
- ・管理・間接部門の見える管理OVM S実践セミナー 11名
- ・見える経営セミナー&見える化先進企業事例発表 (2コース) 57名
- ・設計・開発部門の“見える化”改革&効率化セミナー (2コース) 20名
- ・目標管理／制度革新&実践セミナー 10名
- ・VMによる戦略的経営の進め方 (戦略VM) セミナー 20名
- ・VM／見える経営活動実践セミナー 12名

②ISO関連

- ・ISO9001内部品質監査員養成コース (5コース) 81名
- ・ISO14001内部環境監査員養成コース (4コース) 35名
- ・ISO“スリム化／統合化／VM (見える化)”でムダ取り実現 10名

③人材マネジメント関連

- ・人事制度と人材評価の見直し点検の実践的ポイント 20名
- ・人事制度及び評価制度見直しのポイント 23名
- ・昇進昇格前後の人事評価と動機づけ、行動変革の進め方 (3コース) 28名
- ・強い職場をつくる『自律型社員』の育て方・ふやし方 (2コース) 48名
- ・客観的データにもとづくグローバル人材育成の実践に向けて 13名
- ・『自律』を高める部下指導セミナー (2コース) 26名
- ・若手社員のための「自律型社員育成研修」2日間コース 5名

3) 工場見学会 (4コース 133名)

VMに対する理解を深め、VMを普及していくために、VM先進企業の工場・オフィス見学会を開催。

- ・(株)埼玉富士工場見学会 (3コース) 98名
- ・(株)磯村5S工場見学会 35名

(10) 総務本部 会員事業部

1) 浜松人材育成フォーラム

企業の人材育成の一助となるよう、人材育成について改めて見直す機会とし、「モノづくり企業

の「ヒトづくり」をテーマに、浜松商工会議所との共催によるフォーラムを開催。

テーマ	開催日	講師	参加者数
有能な監督は有能なリーダー プロ野球監督に学ぶ 人の育て方、使い方	平成24年10月11日	スポーツジャーナリスト 元日刊スポーツ新聞社 編集委員 野崎 靖博氏	128
持続可能な企業をめざしたヒトづくり・ものづくり ～変化への挑戦～		荒川工業㈱ 専務取締役 加藤 浩章氏	
トヨタ自動車（事技職）の人材育成 ～若年層からマネージャーまで～		トヨタ自動車㈱ トヨタインスティテュート 主査 山田 治義氏	

2) 中産連人材育成フォーラム

創造性豊かな人材育成をめざして、これからの人材育成のご提案と活かし方を説明。

テーマ	開催日	講師	参加者数
Jリーグ発！！アジアにおけるプロリーグ育成とビジネス戦略	平成24年12月5日	(公財)日本プロサッカーリーグ 理事 中西 大介氏	291
技術系人材に求められる価値の変遷と日立における人材育成		㈱日立製作所 総合教育センター 日立総合技術研修所 桂 晃洋氏	
トヨタにおけるミドルマネージャーの育成について		トヨタ自動車㈱ トヨタインスティテュート 担当部長 山田 治義氏	

4. 国際協力事業

(1) 国際研修部（18件）

コンサルティング事業部では、国際協力事業を国際研修部に窓口を統一して、国際協力機関等に指導コンサルタントを派遣している。

1) 海外での活動

① 友誼団体である（財）海外産業人材育成協会（HIDA）などの海外で実施する研修事業への講師派遣

コース名	主催	実施国	期間	研修日数
Improvement industrial relations (IR) and Human Resource Management (HRM) through Kaizen	HIDA	カンボジア	平成24年11月4日～9日	2
組織と人の問題解決手法 (SHOP)	HIDA	インド	平成24年12月4日～9日	2

②海外で実施するコンサルティングおよび研修事業への講師派遣

コース名	主催	実施国	期間	研修日数
Kaizen methodology workshops for the Cosmetics, Graphic Design and Fashion System industries	P社	コロンビア	平成24年10月6日～27日	11
メキシコ「自動車産業基盤強化プロジェクト」	N社	メキシコ	平成25年1月19日～3月4日	45
VLFM (Visionary Leaders for Manufacturing) プログラム支援	JICA	インド	平成24年4月14日～ 平成25年3月29日	75
Best Practice Workshop & Lean Summit Africa	Lean Institute Africa	南アフリカ共和国	平成24年9月3・4日	2

2) 国内での活動

①国内の受託事業

本年度、(独)国際協力機構(JICA)から、「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画/全社品質・生産性向上研修コース」等4コースを受託実施

コース名	期間	研修員	研修日数
日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画/全社品質・生産性向上研修	平成24年5月7日～9月21日	8	100
モンゴル「地域における中小企業振興」	平成24年10月31日～11月13日	12	10
コロンビア「品質管理・改善」	平成24年11月19日～11月30日	15	10
メルコスール地域における中小企業の経営・生産性向上	平成25年1月16日～3月1日	11	33

*いずれも若手企業人、行政関係者などを対象としている。

②友誼団体である(財)海外産業人材育成協会(HIDA)などの国内で実施する研修事業に講師派遣

コース名	実施機関	延件数
各種経営管理研修コース	HIDA	4

3) 各種団体から委託された国際協力研修

コース名	国内団体・企業	期間	研修日数
生産性向上セミナー	H社	平成24年5月30日～31日 平成24年8月9日	3
メキシコ「プラスチック成形技術人材育成プロジェクト」	N社	平成24年11月27日	1
エチオピア「品質・生産性向上(カイゼン)普及能力開発プロジェクトカウンターパート研修計画」(本邦研修) ※N社が受託したJICA受入研修事業の再委託	N社	平成25年2月18日～3月1日	10

5. 受託事務局事業

(1) マネジメント研修事業部

外部機関からの委託事業の企画・運営

1) 日本設備管理学会 本部

総会・大会の実施、理事会等

2) 日本設備管理学会 東海支部

総会・シンポジウムの実施、企画委員会等

[マネジメント貢献部]

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)

環境パートナーシップ・CLUBは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、循環型経済社会の構築を目指し活動（平成12年2月17日設立）

<主な活動>

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動
- ・環境活動に関する国際交流活動

上記、諸活動を通じて中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境先進地域の形成を目指している。

<環境パートナーシップ・CLUBの役員と会員数>

会長 新美 篤志氏（トヨタ自動車㈱ 代表取締役副社長）

副会長 安井 香一氏（東邦ガス㈱ 代表取締役社長）

副会長 森村 勉氏（東海旅客鉄道㈱ 代表取締役副社長）

副会長 小池 利和氏（ブラザー工業㈱ 代表取締役社長）

副会長 宮池 克人氏（中部電力㈱ 代表取締役副社長執行役員）

副会長 加藤 宣明氏（㈱デンソー 代表取締役社長）

副会長 加藤 太郎氏（日本ガイシ㈱ 代表取締役社長）

総合事務局長 竹内 弘之（(一社)中部産業連盟 副会長）

ほか理事12名 監事2名 顧問10名

会員数 261社(者)（平成25年3月末日現在）

(2) マネジメント開発事業部

・日本経営管理標準（JMS）推進機構の活動

1) 理事会

開催日：平成24年6月18日

内容：平成23年度年間活動報告、平成24年度年間活動計画審議

2) 企画委員会

第一回 開催日：平成24年5月10日

内容：平成24年度年間活動計画案の事前説明と討議

第1回現場実践研究会「㈱デンソー技研センター」

第二回 開催日：平成24年7月11日

内 容：平成24年度活動「現場実践研究会（同時開催）」の具体的討議

第2回現場実践研究会「NECアクセステクニカ㈱」

第三回 開催日：平成24年9月12日

内 容：平成24年度活動「現場実践研究会」の具体的討議

第四回 開催日：平成24年12月7日

内 容：第3回現場実践研究会「㈱豊田自動織機」

第五回 開催日：平成25年1月9日

内 容：発刊報告会の反省と今後の取り組みの具体的討議

(3) 総務本部 会員事業部

1) 日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
海外一流メディアの行間を読む	平成24年 4月11日	SAM日本チャプター 理事 三田村 和夫氏	21
自動車用パワートレーンの課題と将来技術	5月15日	愛知工業大学 工学部 機械学科 教授 藤村 俊夫氏	19
起業してからの足跡	6月20日	㈱オークローンマーケティング 相談役 中村 規脩氏	31
セキュリティ技術の現状とこれから	7月24日	名古屋工業大学大学院 産業戦略工学専攻 教授 梅崎 太造氏	21
環境って何だろう ～3.11後の新聞報道の現場より～	8月21日	㈱中日新聞社 論説委員 飯尾 歩氏	21
ここをつなぐ	9月18日	三重テレビ放送㈱ 常勤監査役 服部 英彰氏	16
空港の建設と運営を通じて 学んだこと	10月9日	中部国際空港㈱ 相談役 平野 幸久氏 ((一社)中部産業連盟 会長)	27
LNG調達の真実	11月20日	中部電力㈱ 取締役執行役員 燃料部 垣見 祐二氏	17
実践 ハラスメントの対策と対応	12月18日	堀西経営法律事務所 弁護士 堀西 良美氏	21
ANAの中部の戦略	平成25年 1月22日	ANAセールス㈱ 名古屋支店 法人販売部長 小河 清伯氏	19
経営者が理解しておきたい労働関係 法改正の概要と影響 ～4月以降の改正をコンパクトに解説～	2月19日	㈱名南経営 執行役員 人事労務統括マネジャー 大津 章敬氏	27
インターネット崩壊論	3月19日	中京大学 情報理工学部 情報システム工学科 教授 鈴木 常彦氏	20

2) 日本広報学会中部部会

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
第23回中部広報塾 放送作家から見た企業情報の価値 テレビに取り上げられるリリースの掟	平成24年 10月1日	放送作家・ 戦略的PRコンサルタント 野呂 エイシロウ氏	39
広報シンポジウム 企業経営を、いま、広報から考え直す 基調講演 「広報のいまー日本、アメリカ、中国」 パネルディスカッション 「広報、かく取り組むべきでは？」	平成25年 3月7日	基調講演講師 フラップ・ジャパン 代表取締役 杉田 敏氏 パネルディスカッション： パネリスト 敷島製パン(株) 総務部 広報室室長 石橋 徹氏 中部国際空港(株) 総務部 総務グループリーダー 高橋 哲也氏 (株)新東通信 PRチーム PRディレクター 犬飼 貴俊氏	45

Ⅲ. 業 務 報 告

1. 会 勢

平成25年3月末日現在の会員数は785社（入会16社、退会18社）

2. 会 議

(1) 総 会

平成24年度定時総会

日 時 平成24年6月13日(水) 14時～15時20分
会 場 名古屋東急ホテル 3階 「ルネッサンスの間」
出席会員 519会員
報告事項 (1)-① 平成23年度事業報告の件
-② 平成24年度事業計画及び収支予算の件

議 案

次の議案を承認

第1号議案 平成23年度計算書類（附属明細書含）承認の件
第2号議案 平成24・25年度理事選任（交替・増員）の件
第3号議案 平成24・25年度監事選任（交替）の件
第4号議案 平成24・25年度評議員選任（交替・増員）の件
第5号議案 平成24・25年度名誉会長選任（交替）の件
第6号議案 平成24・25年度顧問選任（増員）の件
第7号議案 平成24・25年度相談役選任（増員）の件
第8号議案 常勤理事の報酬総額の件

報告事項 (2)-① 平成24・25年度会長（代表理事）互選について
-② 審議役及び参与委嘱について

(2) 理事会・審議会

第267回理事会・第1回審議会

日 時 平成24年5月21日(月) 13時～14時10分
会 場 名古屋観光ホテル 3階 「桂の間」
出席理事数 22名 (理事現在数 27名)
出席監事数 2名 (監事現在数 3名)
出席審議役数 3名（代理出席含） (審議役現在数 20名)
中部経済産業局 地域経済課長臨席

議 案

次の議案を承認

第1号議案 平成23年度事業報告及び計算書類の承認の件

- 第2号議案 定時総会の日時及び場所並びに目的である事項の件
 第3号議案 平成24・25年度会長（代表理事）互選の件
 第4号議案 平成24・25年度審議役選任（交替・増員）の件
 第5号議案 平成24・25年度参与選任の件
 第6号議案 会長が総会、理事会、審議会及び評議員会に出席できないときの議長代行（順序）
 （案）の件
 第7号議案 平成23年度下期新規入会会員の承認を求める件
 第8号議案 就業規則一部改正の件
- 報告事項 (1) 会長、副会長、専務理事の職務執行に関する状況報告について
 (2) その他

第268回臨時理事会

日 時 平成24年6月13日(水) 14時35分～14時45分
 会 場 名古屋東急ホテル 3階 「ロマネスクの間」
 出席理事数 21名 (理事現在数 27名)
 出席監事数 2名 (監事現在数 3名)
 顧問1名(最高顧問) 相談役2名 前監事2名

議 案

次の議案を承認

平成24・25年度会長（代表理事）の互選の件

第269回理事会・第2回審議会

日 時 平成24年11月12日(月) 13時～13時45分
 会 場 ウェスティンナゴヤキャッスル 2階 「金の間」
 出席理事数 19名 (理事現在数 27名)
 出席監事数 2名 (監事現在数 3名)
 出席審議役数 5名(代理出席含) (審議役現在数 21名)
 相談役 2名

中部経済産業局 地域経済課長臨席

議 案

次の議案を承認

第1号議案 平成24年度上期新規入会会員の承認を求める件

第2号議案 「会友」委嘱の件

- 報告事項 (1) 平成24年度上期実施事業ならびに収支実績報告の件
 (2) その他

第270回理事会・第3回審議会

日 時 平成25年3月22日(金) 12時55分～13時50分
 会 場 名古屋観光ホテル 3階 「桂の間」
 出席理事数 18名 (理事現在数 27名)

出席監事数 2名 (監事現在数 3名)
出席審議役数 6名 (代理出席含) (審議役現在数 20名)
顧問1名 (最高顧問) 相談役1名

議 案

次の議案を承認

平成25年度事業計画及び収支予算案の件

- 報告事項 (1) 第4回評議員懇談会・交流会開催の件
(2) 平成24・25年度「会友」委嘱の件
(3) 再雇用制度規程一部改正の件
(4) 職業紹介事業及び労働者派遣事業の件
(5) その他

(3) 評議員懇談会・交流会

第4回評議員懇談会・交流会

日 時 平成25年2月20日(水) 13時30分～15時20分

- ・懇談会 (中産連事業の紹介など)
- ・交流会

会 場 メルパルク名古屋 3階 「サルビアの間」「シリウスの間」

出席者 評議員22名、常勤理事5名、執行理事4名、参事2名

3. 庶 務

(1) 旧主務官庁への届出

平成24年4月13日付、経済産業大臣宛、平成24年4月1日付けで解散の登記及び設立の登記を完了したので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第2項の規定により、移行登記完了届出書に下記書類を添えて届け出た。

- ・登記事項証明書 (履歴事項全部証明書)

(2) 内閣府への申請

- 1) 平成24年4月13日付、内閣府 (内閣総理大臣宛) へ申請 (移行登記完了届出)。平成24年4月1日付けで解散の登記及び設立の登記を完了したので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第2項の規定により、移行登記完了届出書をもって届け出を行った。
- 2) 平成24年6月13日付、内閣府 (内閣総理大臣宛) へ申請 (公益目的財産額の確定に係る必要書類の提出)。一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第33条第1項の規定により、公益目的財産額の確定に関し、必要な書類を提出した。
- 3) 平成24年7月4日付、内閣府 (内閣総理大臣宛) へ申請 (公益目的支出計画等変更の届出)。一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法

律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第125条第3項に掲げる変更（代表者氏名の変更）をしたので、同項の規定により公益目的支出計画等変更届出書に下記書類を添えて届け出を行った。

・履歴事項全部証明書

(3) 登記事項

1) 平成24年4月1日付けで名古屋法務局へ、解散の登記及び設立登記を行った。

2) 平成24年6月27日名古屋法務局へ、代表理事、理事変更を登記した。

(4) 職員の状況

平成25年3月末日現在の正職員は男子82名、女子41名の合計123名である。

4. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

・J E A 経営研究 (J E C)

・経営企画士会 (社)全日本能率連盟登録)

・日本設備管理学会 本部、東海支部

・日本経営近代化協会 (S A M) 名古屋支部

・日本広報学会 中部部会

(2) 関連法人

・中産連ビルディング㈱

・㈱リーム中産連

(3) 専門団体連絡協議会

マネジメントの分野で全国的に活動を行なっている12の法人（公益社団・財団法人、一般社団・財団法人）で組織している専門団体連絡協議会（略称・専団連）のうち、11団体までが東京に本部をおいているが、当連盟は東京以外に本部を持つ唯一の全国的マネジメント専門団体として、この協議会の中核的メンバーとなっている。

5. 役・職員の対外的協力活動

竹内 弘之

(社)全日本能率連盟会長

愛知工業大学経営学部客員教授

経済産業省関係公益法人厚生年金基金理事・代議員

環境パートナーシップ・CLUB (E P O C) 総合事務局長

中部ニュービジネス協議会理事

東海工学教育協会監事

(財)人工知能研究振興財団監事

(公財)科学技術交流財団監事

(社)科学技術と経済の会運営委員会委員
(一財)中部電気保安協会評議員
B P I A (ビジネスプロセス革新協議会) 副会長
愛知県愛知ブランド評価委員会委員
なごや環境大学実行委員会委員
愛知県愛知環境賞選考委員会委員
(学)日本福祉大学評議員
(公財)永井科学技術財団顧問
とくしま経営塾「平成長久手館」運営会議顧問
(公財)内藤科学技術振興財団理事
中部運輸局中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議委員
愛知県あいち自然環境保全戦略推進委員会
愛知学院大学大学院経営学専攻非常勤講師
N P O 日本動産鑑定理事
名古屋市立大学大学院経済学研究科非常勤講師

五十嵐 瞭

(社)全日本能率連盟マネジメント関係資格称号自主規制審査委員会委員
(社)全日本能率連盟M C 認定制度審査会委員

清水 益文

(社)全日本能率連盟M C 認定制度審査会制度委員会委員
(社)名古屋工業会監事

佐々木 元

名城大学非常勤講師

石原 聖治

朝日大学非常勤講師

梶川 達也

中部大学非常勤講師

寒河江 克昌

(社)全日本能率連盟全国能率大会企画委員会委員

柘植 吉則

椋山女学園大学非常勤講師
名古屋工業大学非常勤講師

永見 保幸

専門団体連絡協議会委員
(社)全日本能率連盟組織委員会委員

中村 連太

(社)全日本能率連盟自主調査研究調査研究メンバー

山崎 康夫

東京造形大学非常勤講師

6. 会員支援

(総務本部 会員事業部)

- (1) プロGRESS (中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌) の発行 (別表①参照)

新しいマネジメントの提言、企業戦略の紹介など実践的内容で高い評価を得ており、毎号、テーマを絞った特集方式で編集することで、会員企業の関心の高いテーマを特集として企画、また、識者によるコラムのコーナーを設置

- (2) 会員懇話会 (会員向け無料講演会) (別表②参照)

毎回、タイムリーで話題性の高いテーマを取り上げ実施

- (3) 経営・法務相談室 (無料)

経営全般に関する無料相談と企業法務に焦点を当てた経営・法務の無料相談室には、これまでそれぞれの時代を反映した相談が寄せられており、今期も経営課題・問題解決の窓口を開設

- (4) 中産連ビデオサービス (別表③参照)

会員企業向けメンバー登録制によるビデオギャラリーを開設、企業内研修等に活用

- (5) 中産連ホームページ

当連盟団体概要の紹介のほか、新着情報コーナーなどで、さまざまな情報を提供するとともに、会員企業ホームページへのリンクサービス、セミナー申込み、コンサルティングの問い合わせ等に対応、また、会員企業向けに機関誌『プロGRESS』バックナンバーのダウンロードサービスを提供

- (6) 中産連案内パンフレットの修正増刷

- (7) 公開研修会案内冊子 (無料) の発行

- ・平成24年4月～6月公開研修会のご案内
- ・平成24年7月～9月公開研修会のご案内
- ・平成24年10月～12月公開研修会のご案内
- ・平成25年1月～3月公開研修会のご案内

- (8) プロGRESSファイルの制作

1年間発行分の機関誌『プロGRESS』を保管するファイル (バインダー) を製作

- (9) マネジメント小冊子の発行

- ・『平成24年度会員懇話会抄録集』(平成25年3月31日発行・1000部)
- ・企業訪問シリーズ『革新の創造力・I』(平成25年3月31日発行・1000部)

- (10) 会員交流会

会員企業相互の情報交換、交流の場として会員交流会を開催

開催日	参加者数	備考
平成24年7月27日	30	第3回交流会・第520回会員懇話会併催
平成25年1月22日	41	第4回交流会・第524回会員懇話会併催

別表① 平成24年度上期プロブレス主要記事

月号	表紙	紙	潮	流	特集テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他
4月号	㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海支社「モバイルガйдシステム 実証実験」	㈱東芝 中部支社 執行役常務中部支社長 吉岡 正純氏 「私の夢の実現にむけて」	柳東芝 中部支社 執行役常務中部支社長 吉岡 正純氏 「私の夢の実現にむけて」	①21世紀大変革期の胎動・世界的危機からどう立ち上がるか ～平成24年度中産連事業活動方針と運営体制～ ～(一社)中部産業連盟 総合事業本部長 竹内 弘之 副会長 藤原 清則氏 ～さらなる国際競争力の強化に向けて ～日本企業における研究開発の現状と今後の課題～ 法政大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授 藤原 清則氏	第515回 いま、日本企業に必要なこと～SONYとGoogleの企業比較に学ぶ～ アレックス・バーク 代表取締役社長兼CEO 辻野 晃一郎氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第11回》宮川工業㈱：多軸の技術、効率の追求による新分野を開拓 ChuSanRen Topics 中堅・中小企業のグローバル化支援 理事・コロンサルディング事業部長 福山 穂 コラム「大道無門」 「オリンピックの年」 東海テレビ東名体操クラブ 代表 笠松 茂氏		
5月号	ツキオカフィルム製薬㈱ 「フィルム製剤・可食フィルム専門工場を新たに竣工」	マルヤス工業㈱ 取締役副社長 山田 信二氏 「国際化の流れの中で」	マルヤス工業㈱ 取締役副社長 山田 信二氏 「国際化の流れの中で」	①企業経営におけるサブライチエーションリスクの台頭と地域型事業継続マネジメント (BCM) ～リスクマネジメントの視点と地域内官民連携の重要性～ 名古屋工業大学 工学研究科 社会工学専攻 教授 渡辺 研司氏 ②SNS時代の社員情報管理の「炎上」を未然に防ぐ～ ㈱ガーラバス 代表取締役CEO 佐野 真啓氏	第516回 「小さな企業でも発揮できる強いブランド力」 ～自社製品・サービスを一流ブランドへと高める戦略とは～ 代表取締役 酒井 光雄氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第12回》㈱岩田鉄工所：オリジナル商品の開発をきっかけに、より優れた技術集団へ ChuSanRen Topics 「真のBCP (Business Continuity Plan)」で企業の生き残りを ～(一社)中部産業連盟 主任コロンサルタント 吉田 薫 コラム「大道無門」 「田舎少年が世界のヒノキ舞台へ」 東海テレビ東名体操クラブ 代表 笠松 茂氏		
6月号	㈱テクノ中部「初夏を迎えた屋上ヒオトクラブ」	シヤチハタ㈱ 代表取締役会長 舟橋 紳吉郎氏 「今日の日本の暗い経済と社会の中にあつて、グローバルに 변화している経済社会に明日の希望を求めて」	シヤチハタ㈱ 代表取締役会長 舟橋 紳吉郎氏 「今日の日本の暗い経済と社会の中にあつて、グローバルに 変化している経済社会に明日の希望を求めて」	①これからのグローバル競争と知的財産 ～本業で稼ぐ知的財産の創出～ 名城大学法科大学院 法務研究科 教授 青山 高美氏 ②企業価値評価における新たな潮流 ESG (Environment・Social・Governance) を考える視点のコーポレートコミュニケーションを考へる ㈱エッジ・インターナショナル 代表取締役 榎原 伸祥氏	第517回 「リベンジョンへの挑戦」 ～成長至上主義からの脱却～ 神戸大学大学院 経営学研究科 教授 三品 和広氏	ChuSanRen Topics ビジョン達成のための『VICTOR』手法 ～(一社)中部産業連盟 理事・コロンサルタント 事業部長 福山 穂 コラム「大道無門」 「ロンドンオリンピック頑張れ！～指導者としての想い～」 東海テレビ東名体操クラブ 代表 笠松 茂氏		
7月号	トヨタ自動車㈱ 「第40回2.4時間耐久レース2クラス優勝」	㈱オートエックス 取締役社長 小田井 博茂氏 「社長就任30年、更なる飛躍を目指してラフスタスバート」	㈱オートエックス 取締役社長 小田井 博茂氏 「社長就任30年、更なる飛躍を目指してラフスタスバート」	①グローバル時代の人材戦略 ～新興国企業への頭脳流出にどう対応するか～ 関西学院大学 経済学部 教授 井口 泰氏 ②平成24年度中部産業連盟定時総会	第518回 「知っておきたい放射能の基礎知識」 名古屋大学教授 齋藤 勝裕氏	ChuSanRen Topics 中産連のグローバル支援 ～(一社)中部産業連盟 理事・コロンサルタント 執行理事 秋徳 功 コラム「大道無門」 「環境って何だろう」 中日新聞社 論説委員 飯尾 歩氏		
8月号	㈱中部経済新聞社 「初夏を満喫」 「入居する『名古屋クロスコートタワー』」	日本空調サービス㈱ 代表取締役社長 橋本 東海男氏 「歴史に学ぶコローパバナンタス」	①アジア新興国市場を攻略せよ ～日本型ビジネスモデルは通用するか～ 静岡産業大学 経営学部 教授 丹羽 由一氏 ②中小企業生き残り～2012年版中小企業白書より～ 経済産業省 井之上 拓也氏 調査室	第519回 「フロンティア型経営に求められる新たな視点」 ～CS (顧客満足) とES (従業員満足) の好循環に基づいて「継続的なイノベーション」の創出～ 名古屋工業大学大学院 産業戦略工学専攻 准教授 加藤 雄一郎氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第13回》KTX㈱：電鋳技術の絶え間ない進化による大きく飛躍 ChuSanRen Topics 中産連の中小企業診断士登録養成課程 ～(一社)中部産業連盟 上席主任コロンサルタント 梶川 達也 コラム「大道無門」 「環境って何だろう②」 中日新聞社 論説委員 飯尾 歩氏			
9月号	ユタカフーズ㈱ 「ユタカファーズ納涼祭」を開催」	㈱丸武部品 代表取締役社長 池田 健二氏 「創業50周年を迎えて思うこと」	①中産連新会長就任記念イベント「ユタカフーズ」 ～グローバル経済が加速するなかで、日本のモノづくりの企業に必要なのは、「競争と共生」の精神である。～ ②第63回(全国)中部産業連盟 会長 平野 幸久 プロセス型産業におけるキヤッシュを増大させる活動の実践 ～(一社)中部産業連盟 コロンサルタント 花井 康孝	第520回 「『マルちゃん』はなぜメキシコの国民食になったのか？」 ～世界で売れる日本製品の異文化対応力～ ビジネスプランナー 安西 洋之氏 テックラボウデザイン 代表 中林 鉄太郎氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第14回》㈱マダモエ：石膏型技術をもとにした人工乳房で新たなステージへ ChuSanRen Topics QAネットワークを駆ったグローバル化時代のモノづくり ～(一社)中部産業連盟 上席主任コロンサルタント 川口 恭則 コラム「大道無門」 「環境って何だろう③」 中日新聞社 論説委員 飯尾 歩氏			

別表① 平成24年度下期プログラム主要記事

月号	表紙	潮	流	特集テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他
10月号	㈱ニッセイ 「第12回ニッセイ杯 少年野球大会」を開催	㈱小島製作所 代表取締役 大澤 章人氏 「災害を克服する力」		①日本企業の海外展開とグローバル人材の確保・育成 独立行政法人日本貿易振興機構 海外調査部 国際経済研究課 課長代理 山田 尚徳氏 ②ビッグデータを経営に活かす ～最新データサイエンスの動向～ 専修大学 商学部「マーケティング学科」 教授 生田田 崇氏		企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第15回》糸入地産:左靴の染加工技術を活かして、カーボンナノチューブを軸とした特別寄稿 (一社)中部産業連盟 古橋 武之 ChusankRen Topics 中堅・中小企業のミドル社員の活性化 (一社)中部産業連盟 理事・コンサルティング事業部長 福山 稷 名正運輸株式会社によるISO/DIS8001パイロット審査参加の紹介 (一社)中部産業連盟 コンサルタント 黒田 啓介 コラム「大道無門」 リニア・鉄道館の車両に観る高速鉄道の進化ーその1ー 東海旅客鉄道 利ニア・鉄道館 船長 金子 利治氏	
11月号	㈱ジェイエック 「『JTEKT伊賀試 験場(テストコース)』 を開設」	豊田通商㈱ 元取締役副会長 豊原 洋治氏 「誠心誠意」		①ものづくり企業における、これからの新商品・新事業開発 ・インテグレーション 代表取締役社長 多喜 義彦氏 ②難局を乗り越える最良のチームビルディング ～個の力を最大限に発揮する効果的アプローチ～ (一社)NLPコーチング協会 代表理事 二階堂 忠春氏	第521回 「日本経済の底力秘蔵が目覚めるとき」 ～眠っている日本の力を最大限に生かす道～ 東京大学 新領域創成科学研究科 国際協力学専攻 戸堂 康之氏 教授	ChusankRen Topics 審査指定機関から見る「ライオン」Pマーク審査センター (一社)中部産業連盟 明根 明郎 審査室 部長 関根 明郎 コラム「大道無門」 リニア・鉄道館の車両に観る高速鉄道の進化ーその2ー 東海旅客鉄道 利ニア・鉄道館 船長 金子 利治氏	
12月号	伊勢湾海運㈱ 「クルーズマンスイ ル・クオリティポイント」 ミネーション点灯」	愛知工業大学 工学部 藤村 俊夫氏 「日本のものづくり」		2013年景況予測と企業動向調査 ～中産連役員57氏の予測～ (中産連役員アンケート 集計結果より) (一社)中部産業連盟 副会長 竹内 弘之 主任 中産連 サルタント 加藤 久仁明	第522回 「日本のものづくりが世界で勝ち抜く条 件」 日経ものづくり 編集委員 木崎 健太郎氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第16回》㈱時鐘開業:金型一部に技術を継ぎ、帯はひとつ上の品質をめざす コラム「大道無門」 リニア・鉄道館の車両に観る高速鉄道の進化ーその3ー 東海旅客鉄道 利ニア・鉄道館 船長 金子 利治氏	
1月号	学名城大学 「(仙沼市大島での ボランタリー養殖ホ タテの手入れ作業)」	中産連会長年頭ご挨拶 (一社)中部産業連盟 会長 平野 幸久		①2013年世界経済の動向とわが国企業の経営戦略 一橋大学大学院 商学研究科 教授 橋川 武蔵氏 ②東海経済2013年の展望 榎田 誠希氏 日本銀行 名古屋支店長	第523回 『燃える氷』は資源小国ニッポンの 『夢のエネルギ』となるか! 東京大学大学院 工学研究科 エネルギ・資源フロンティアセンター 准教授 増田 昌敬氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第17回》㈱トキカ ㈱時鐘開業の補完と、その「課題品」へのカーネーション ChusankRen Topics 愛知県アジアビジネス情報提供事業の展開 (一社)中部産業連盟 主任 中産連 サルタント 加藤 久仁明 コラム「大道無門」 「若者言葉とは?」一昔も若者言葉はあった!」 相山女子園大学 人間関係学部 教授 加藤 主税氏	
2月号	日野自動車㈱ 「ダカールラリー 2013 トラック部門 『排気量10リッター 未満クラス』優勝」	㈱三菱東京UFJ銀行 常任顧問 古角 保氏 「自動車自立と国民経済的 観点のすすめ」		①大信グループ「見える化」運動 5S+VMで「進化」を続ける企業集団へ 大信産業㈱ 常務取締役 宮下 直也氏 大信グループのVM活動に学ぶ(解説) トヨタグループのVM活動に学ぶ(解説) トヨタグループのVM活動に学ぶ(解説) (一社)中部産業連盟 東京本部 小林 啓子 上席主任 中産連 サルタント (流儀) ②問題(点)解決の思考性 (一社)中部産業連盟 理事・マネジメンツ開発 佐々木 元	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第18回》㈱五合:ものづくりに夢を託し、さらなる飛躍をめざす 人材育成フォーラム基調講演抄録 Jリーグ第11アジアにおける「プロリーグ育成」とビジネス戦略 (公社)日本プロサッカーリーグ 理事 中西 大介氏 (公社)日本プロサッカーリーグ 国際研修部 米国ノートルダム大学「エグゼクティブ短期特別プログラム」 (一社)中部産業連盟 コラム「大道無門」 「最近の若者言葉ーロールモデルをベツツって知っていますか?」 相山女子園大学 人間関係学部 教授 加藤 主税氏		
3月号	㈱機械製作所 「名機スクエアルでの 射出成形技術研修」	矢作建設工業㈱ 取締役社長 和久氏 「社会に必要なとされる会 社である為に」		①ニッポン復活の鍵はやはり半導体にある ～自動車、メデイクールなどの高付加価値新アプリ が出口 ㈱産業タイルズズ 代表取締役社長 泉谷 渉氏 ②資源・エネルギのムダづかいを見える化し、コ ストダウン ～改善活動を効果的に続けよう～ (一社)中部産業連盟 上席主任 中産連 サルタント 梶川 達也	第524回 「チャレンジを楽しむ」 ～日本初の民間主導で開港した中部国 際空港の経営に学ぶ～ (一社)中部産業連盟 会長 平野 幸久	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 元気な中小企業は常に進化を続ける～(在間の取材を振り返って～ 中産連「革新の創造力」取材班 ChusankRen Topics 目で見えて分かる現場レバレッジアップ基準書 (一社)中部産業連盟 上席主任 中産連 サルタント 三木 素直 コラム「大道無門」 「この20年間の若者言葉の変化ーいろいろなる事情があるのです」 相山女子園大学 人間関係学部 教授 加藤 主税氏	

別表② 会員懇話会

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
リ・インベンションへの挑戦 ～成長至上主義からの脱却～	第517回 平成24年 4月20日	神戸大学大学院 経営学研究科 教授 三品 和広氏	73
知っておきたい放射能の基礎知識	第518回 5月30日	名古屋工業大学 名誉教授 齋藤 勝裕氏	77
フロントランナー型経営に求められる新たな視点 ～ビジョンを核としたCS（顧客満足）とES（従業員満足）の好循環に基づく“継続的なイノベーション”の創出～	第519回 6月13日	名古屋工業大学大学院 産業戦略工学専攻 准教授 加藤 雄一郎氏	120
「マルちゃん」はなぜメキシコの国民食になったのか？ ～世界で売れる日本製品の異文化対応力～	第520回 7月27日	テツタロウデザイン 代表 中林 鉄太郎氏 ビジネスプランナー 安西 洋之氏	66
日本経済の底力ー臥龍が目覚めるとき ～眠っている日本の力を最大限に生かす道～	第521回 9月12日	東京大学 新領域創成科学研究科 国際協力学専攻 教授 戸堂 康之氏	112
日本のものづくりが世界で勝ち抜く条件	第522回 10月30日	日経ものづくり 編集委員 木崎 健太郎氏	123
「燃える氷」は資源小国ニッポンの「夢のエネルギー」となるか	第523回 12月3日	東京大学大学院 工学研究科 エネルギー・資源フロンティアセンター 准教授 増田 昌敬氏	193
苦難を乗り越えるリーダーシップとチームビルディング ～日本初の民間主導で開港した中部国際空港の経営に学ぶ～	第524回 平成25年 1月22日	中部国際空港(株) 相談役 (一社)中部産業連盟 会長 平野 幸久氏	88
グローバル経済と2013年の日本経済展望	第525回 2月20日	(株)武者リサーチ 代表 武者 陵司氏	74
新しい市場のつくりかた ～イノベーションとは付加価値の創造～	第526回 3月21日	東海大学 政治経済学部 専任講師 三宅 秀道氏	78

別表③ 中産連ビデオサービス

	平成24年度上期	平成24年度下期	通期合計
新規登録会員数	0社	0社	0社
会員数	169社	169社	169社
ビデオ貸出総数	4本	3本	7本
ビデオ貸出社数	1社	1社	2社